

### 3 都市の現状及び将来見通しに関する都市構造上の課題の抽出

都市計画基礎調査及び国勢調査などの各種統計調査を基に、本市の都市構造に関する各種基礎的データの収集を行い、現状を整理・分析し、課題を抽出した。

#### 3.1 都市の現状

##### 3.1.1 人口動向

###### (1) 総人口の推移

###### ① 総人口

総人口は、近年においても微増傾向にあり、甲斐市誕生後の 2005 年（平成 17 年）で 74,062 人、2020 年（令和 2 年）で 75,313 人となっている。

一方、増減率は、甲斐市誕生前の 1985 年（昭和 60 年）から 2010 年（平成 22 年）まで減少し、-0.3%を記録していたが、それ以降 2020 年（令和 2 年）までに 1.2%まで微増している。

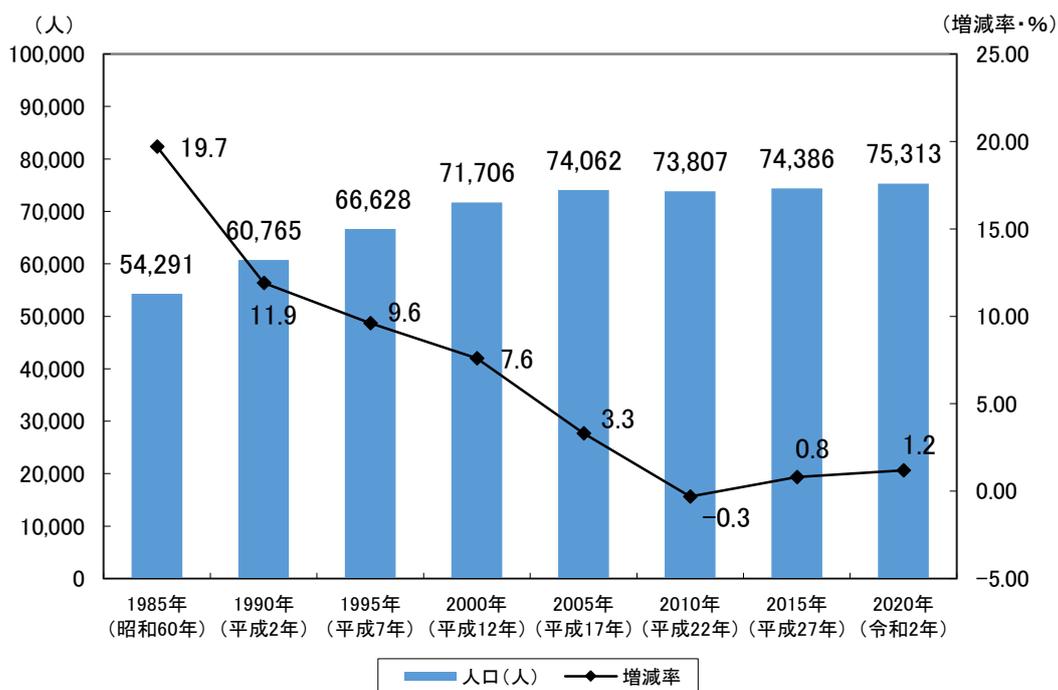


図 総人口推移

出典：国勢調査

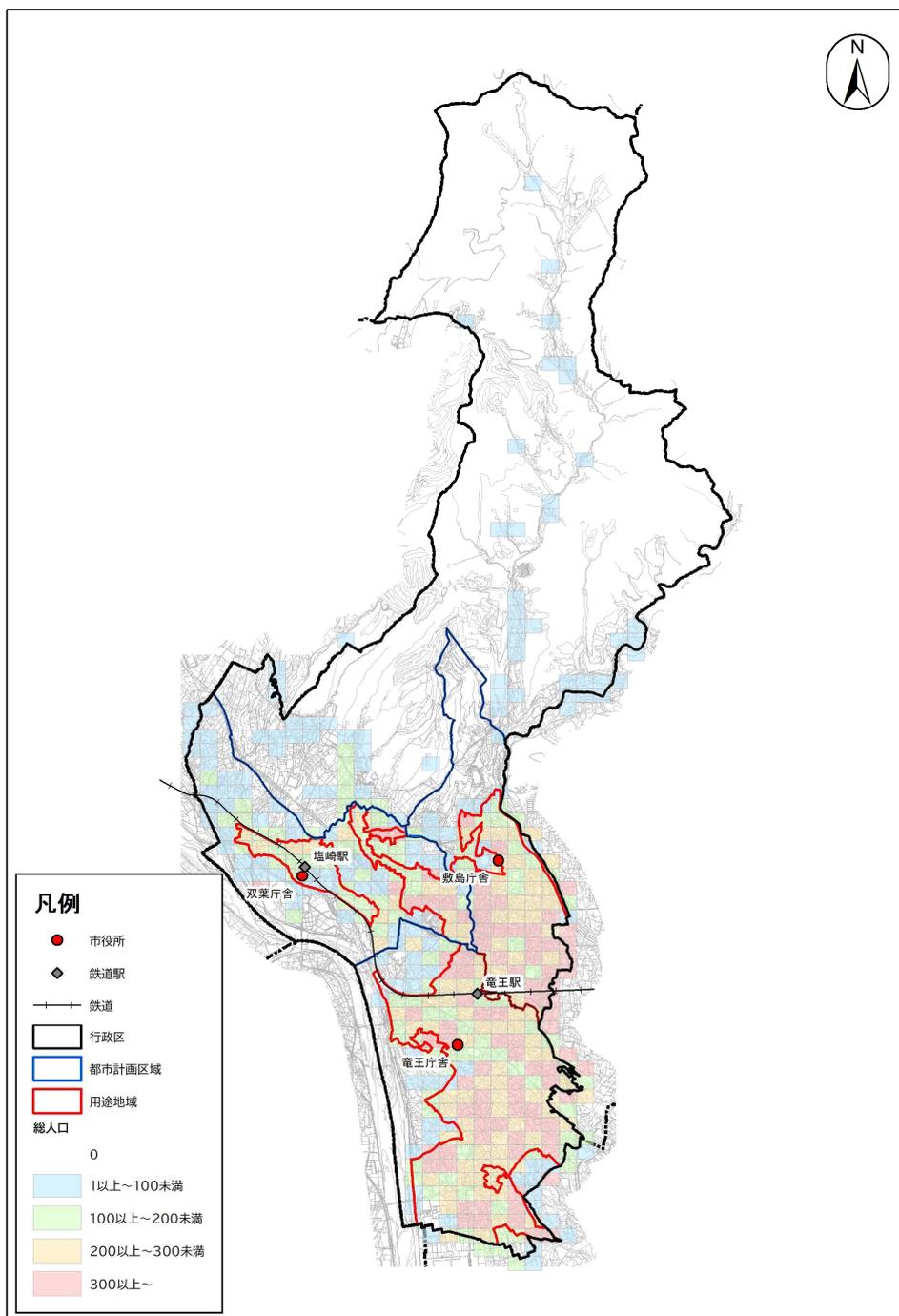


図 総人口分布図（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

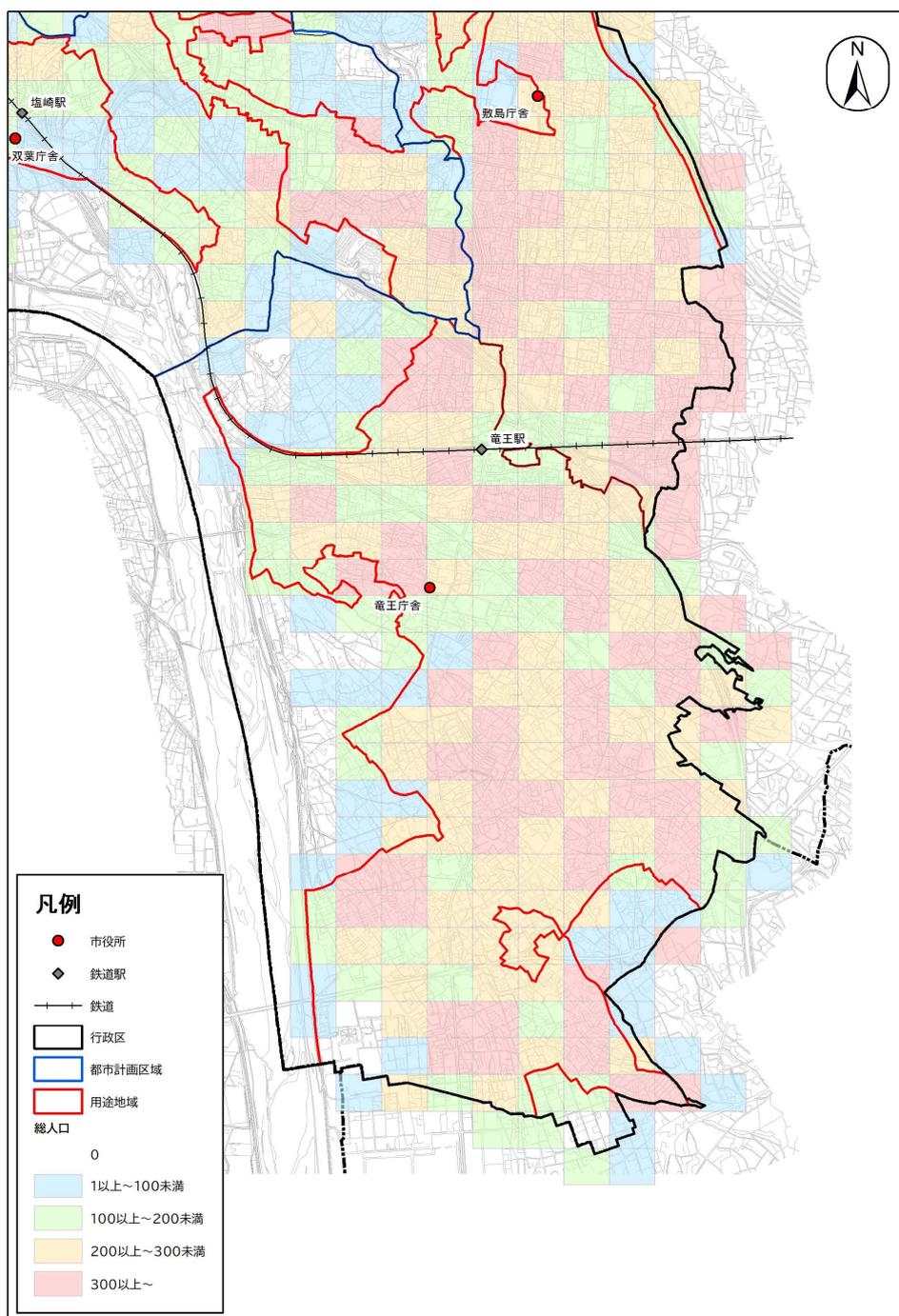


図 竜王地区の総人口分布図（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

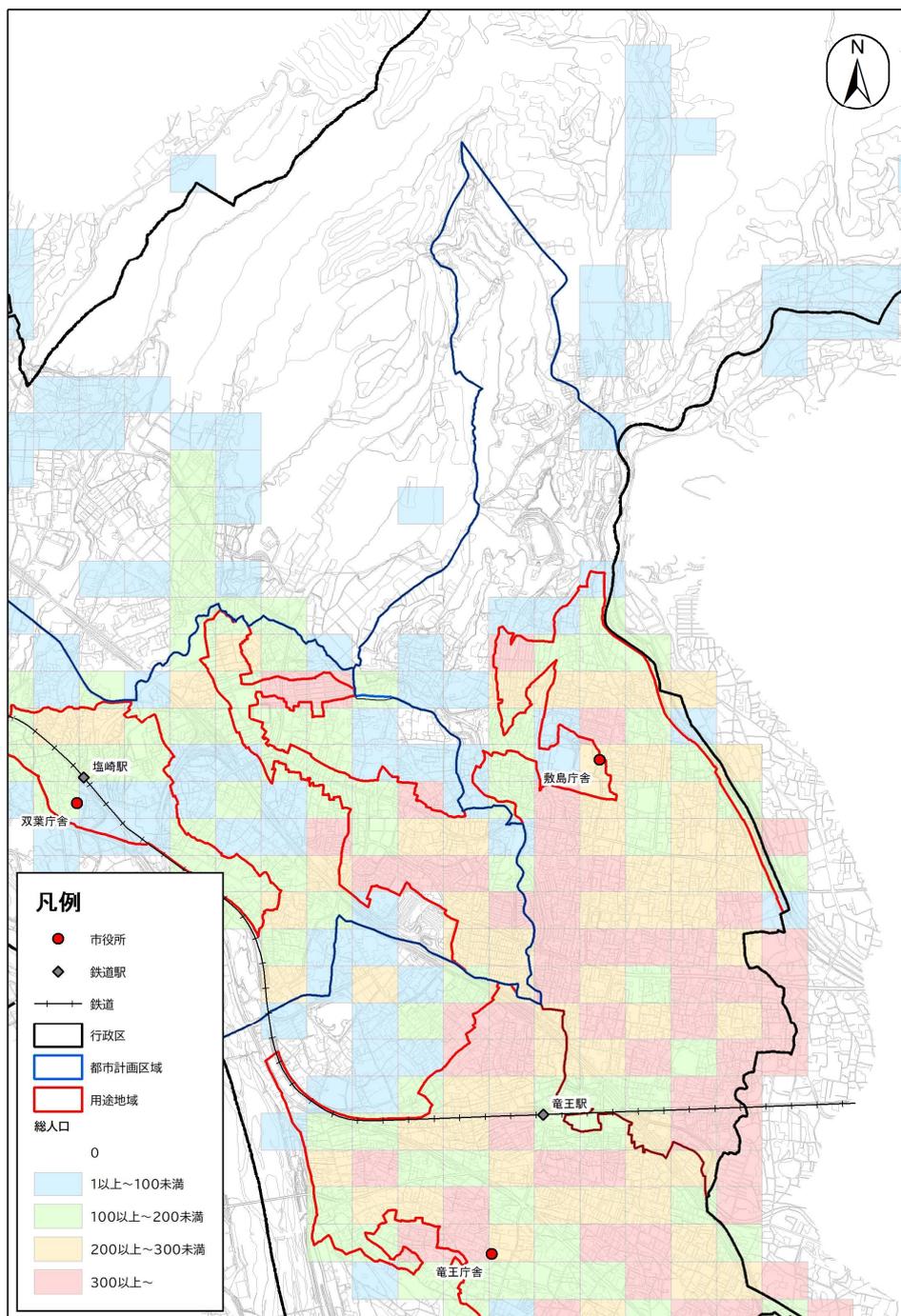


図 敷島地区の総人口分布図（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

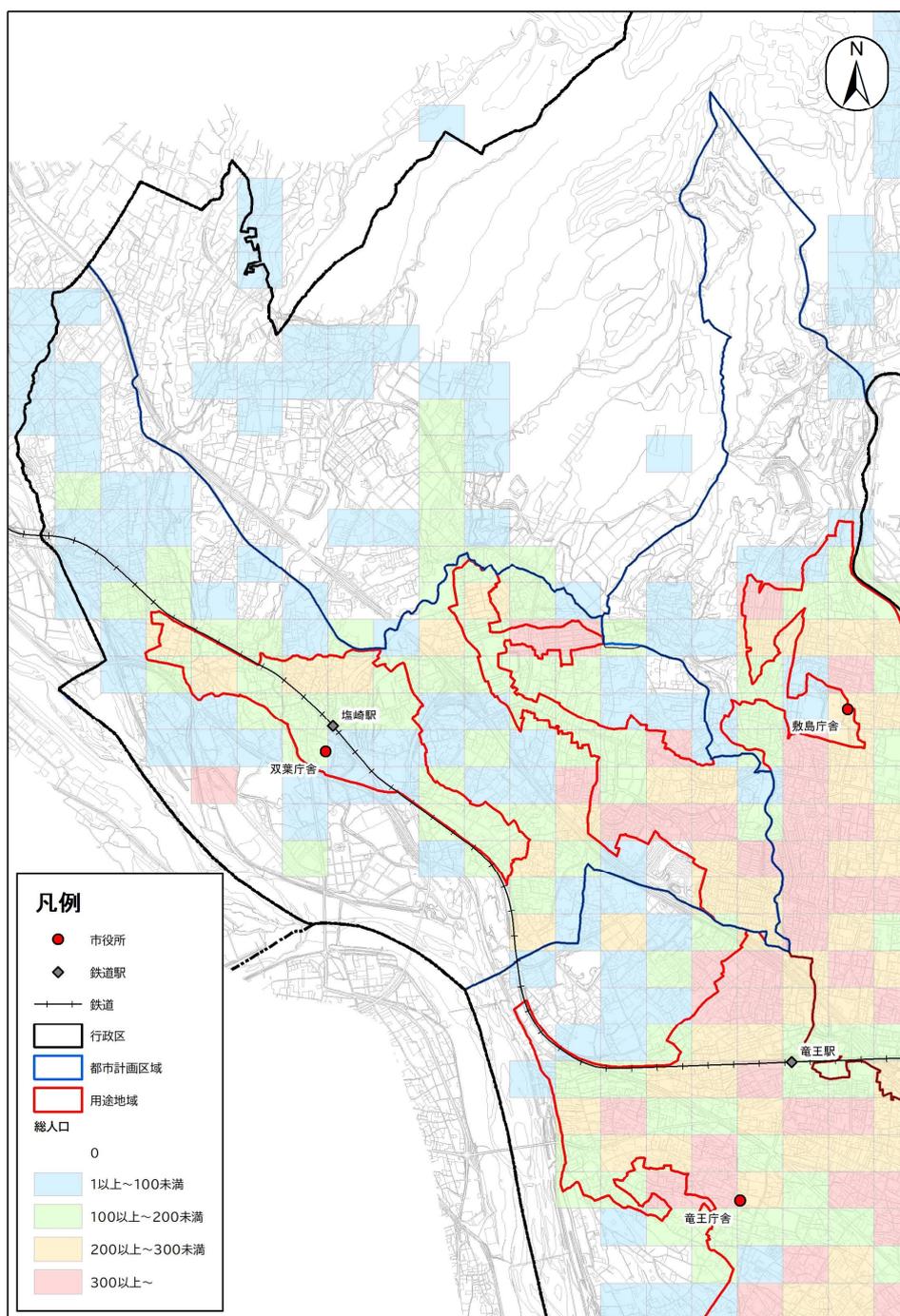


図 双葉地区の総人口分布図（2020年）

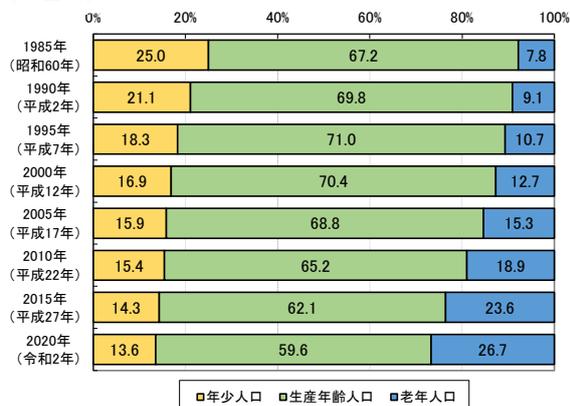
出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

## ② 年齢階層別人口

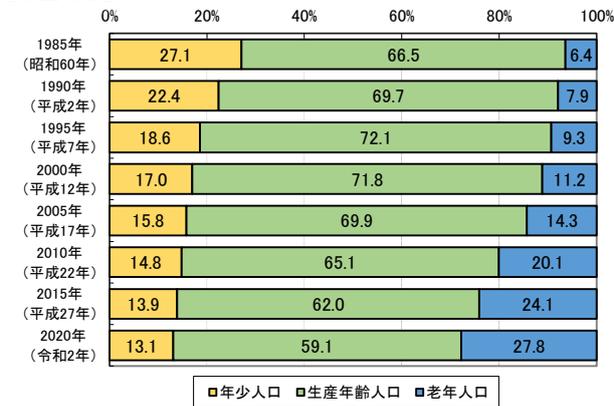
市全域では、2020年（令和2年）で年少人口が13.6%、老年人口が26.7%となっており、市全域で少子高齢化が進行している。

地区別では、竜王地区及び敷島地区の高齢化が比較的進行しているが、双葉地区の高齢化は23.4%と市全域と比較しても進行が遅い傾向にある。

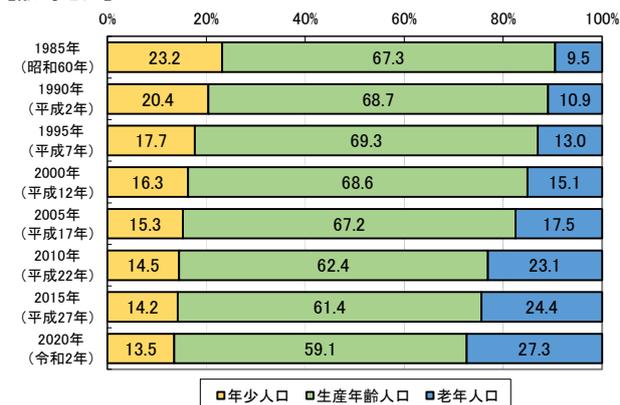
【市全域】



【竜王地区】



【敷島地区】



【双葉地区】

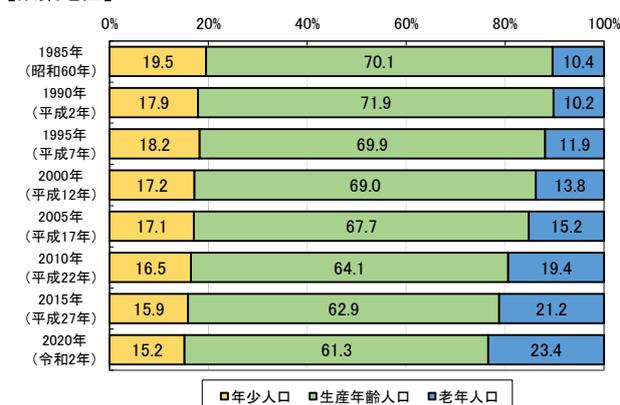


図 年齢階層別人口構成（市全域、地区別）

出典：国勢調査

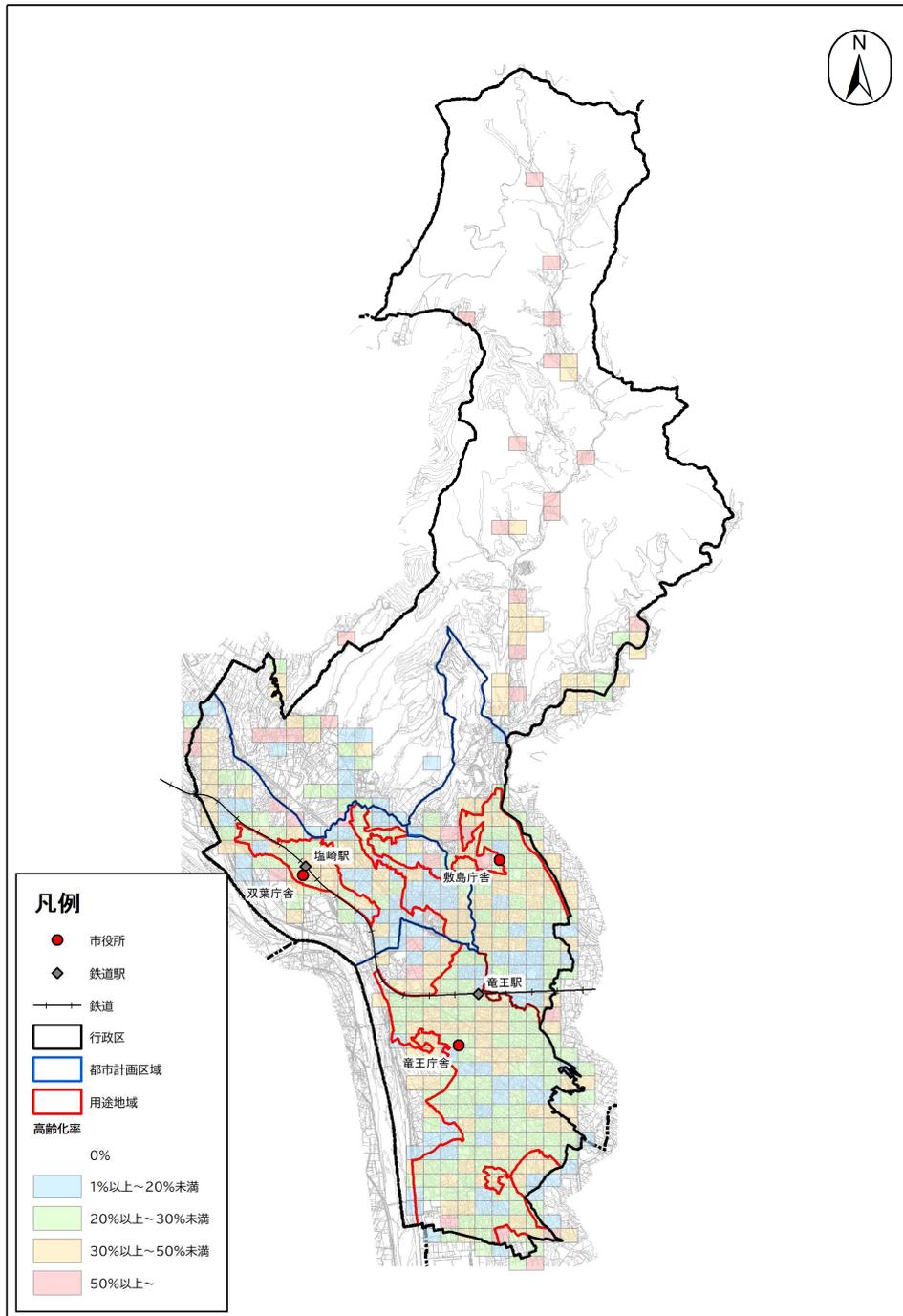


図 高齢化率の分布状況（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

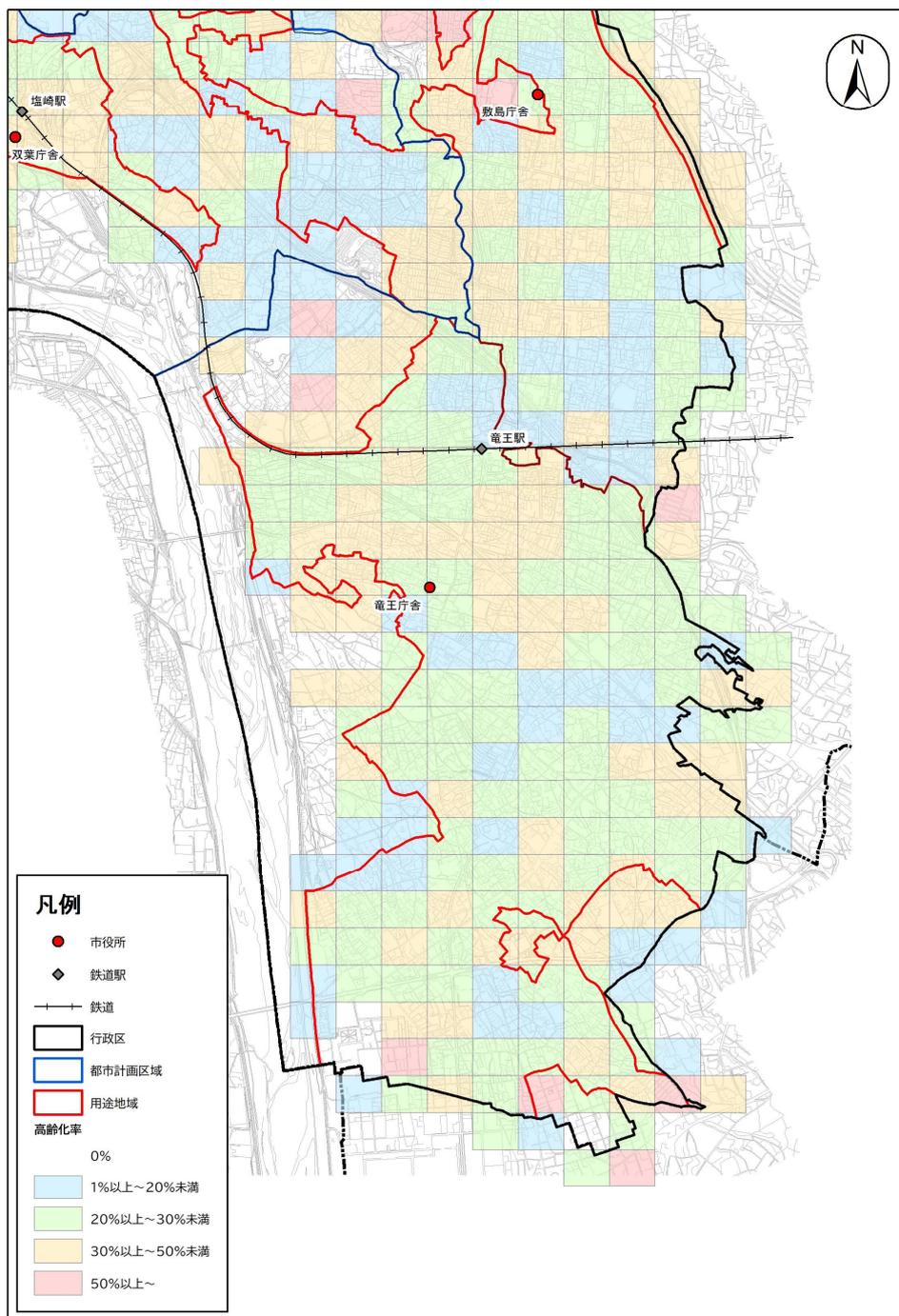


図 竜王地区の高齢化率の分布状況（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

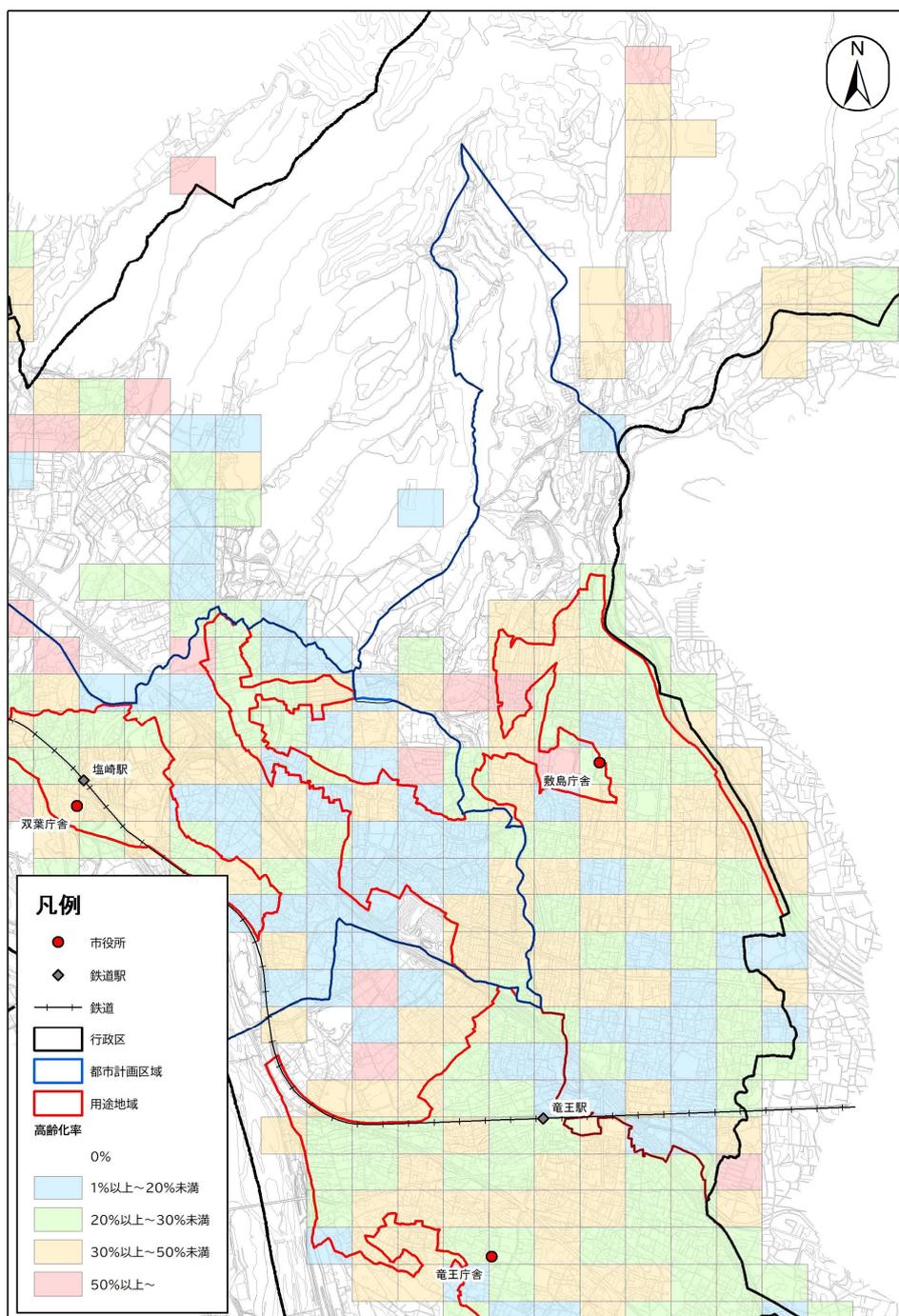


図 敷島地区の高齢化率の分布状況 (2020年)

出典：2020年国勢調査 250m メッシュ

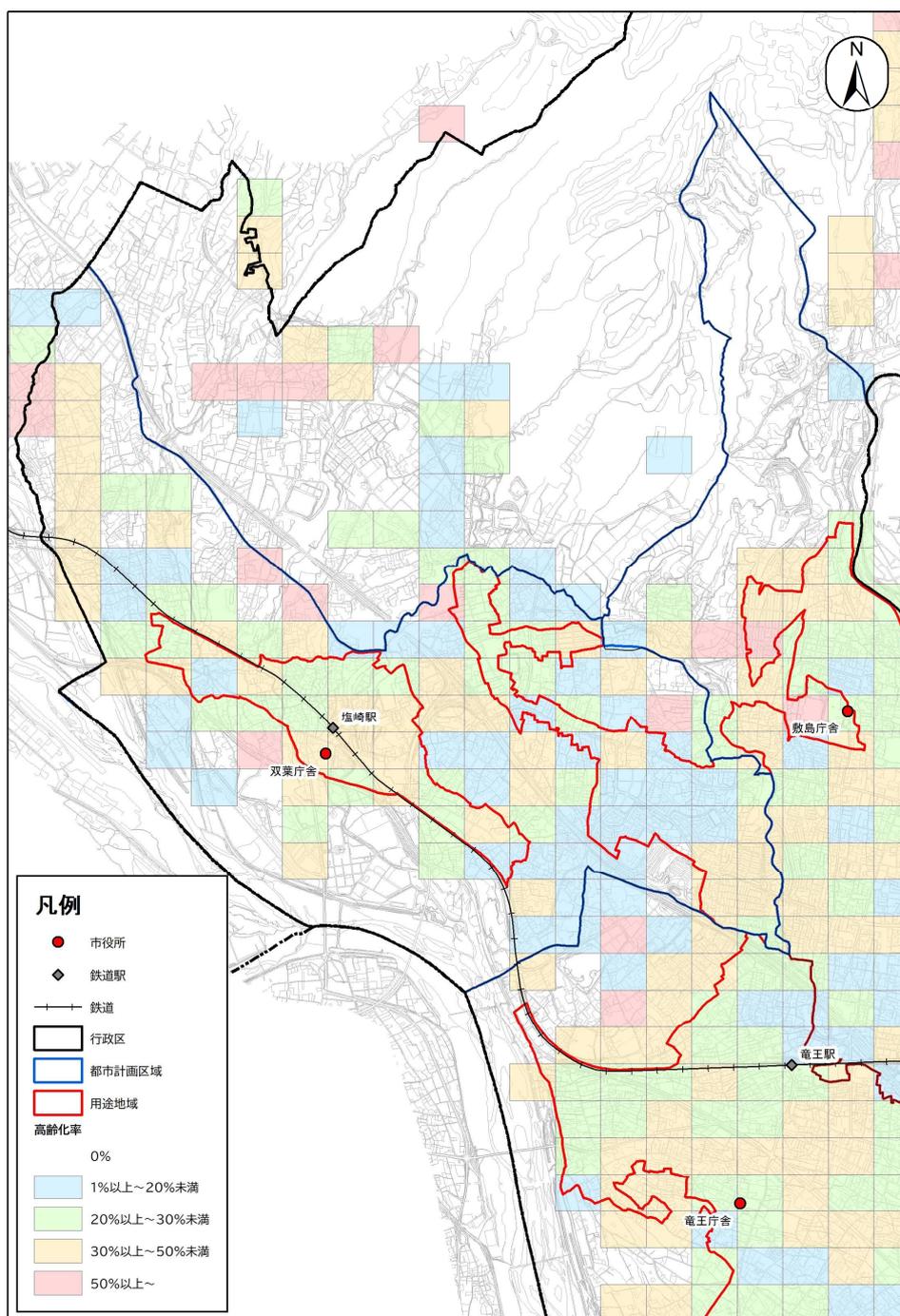


図 双葉地区の高齢化率の分布状況（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

## (2) 都市計画区域内外の人口推移

都市計画区域内の人口は1985年（昭和60年）から2005年（平成17年）までは増加傾向にあったが、2005年（平成17年）以降は、微増傾向となっている。

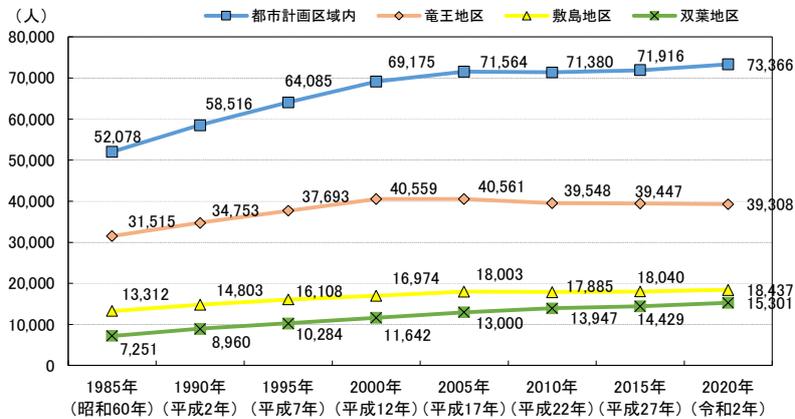


図 都市計画区域内の人口推移

出典：都市計画基礎調査

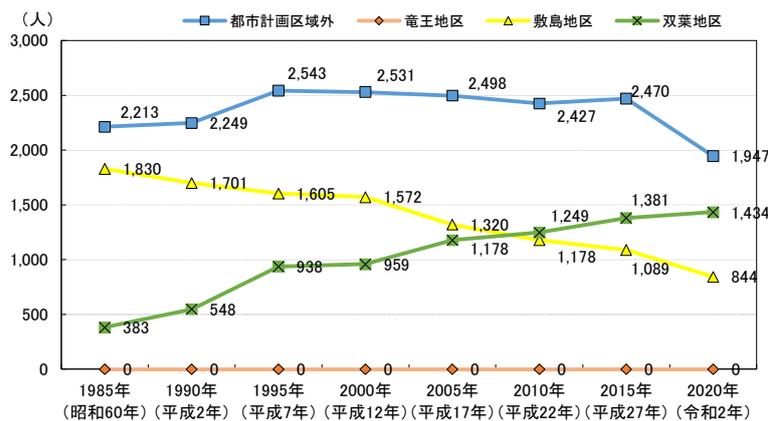


図 都市計画区域外の人口推移

出典：都市計画基礎調査

表 地域別都市計画区域内外及び市街化区域内外の人口推移

(単位: 人)

区分	市全域		竜王地区				敷島地区			双葉地区				
	都市計画区域内	都市計画区域外	都市計画区域内	市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域外	都市計画区域内	市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域外	都市計画区域内	市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域外
1985年 (昭和60年)	52,078	2,213	31,515	28,594	2,921	0	13,312	12,803	509	1,830	7,251	-	7,251	383
1990年 (平成2年)	58,516	2,249	34,753	31,759	2,994	0	14,803	14,063	740	1,701	8,960	-	8,960	548
1995年 (平成7年)	64,085	2,543	37,693	35,455	2,238	0	16,108	15,526	582	1,605	10,284	6,277	4,007	938
2000年 (平成12年)	69,175	2,531	40,559	38,307	2,252	0	16,974	16,441	533	1,572	11,642	7,200	4,442	959
2005年 (平成17年)	71,564	2,498	40,561	38,311	2,250	0	18,003	17,530	473	1,320	13,000	8,123	4,877	1,178
2010年 (平成22年)	71,380	2,427	39,548	37,736	1,812	0	17,885	17,546	339	1,178	13,947	9,007	4,940	1,249
2015年 (平成27年)	71,916	2,470	39,447	36,944	2,503	0	18,040	17,531	509	1,089	14,429	8,230	6,199	1,381
2020年 (令和2年)	73,366	1,947	39,308	36,883	2,425	0	18,437	17,965	472	844	15,301	8,722	6,579	1,434

出典：都市計画基礎調査

### (3) 地域別人口の推移

地区別では、竜王地区が2005年（平成17年）以降、減少に転じている。また、敷島地区についても2005年（平成17年）以降は同一水準で推移している。一方、双葉地区は1985年（昭和60年）から2020年（令和2年）まで増加しており、2020年（令和2年）には16,735人まで増加している。

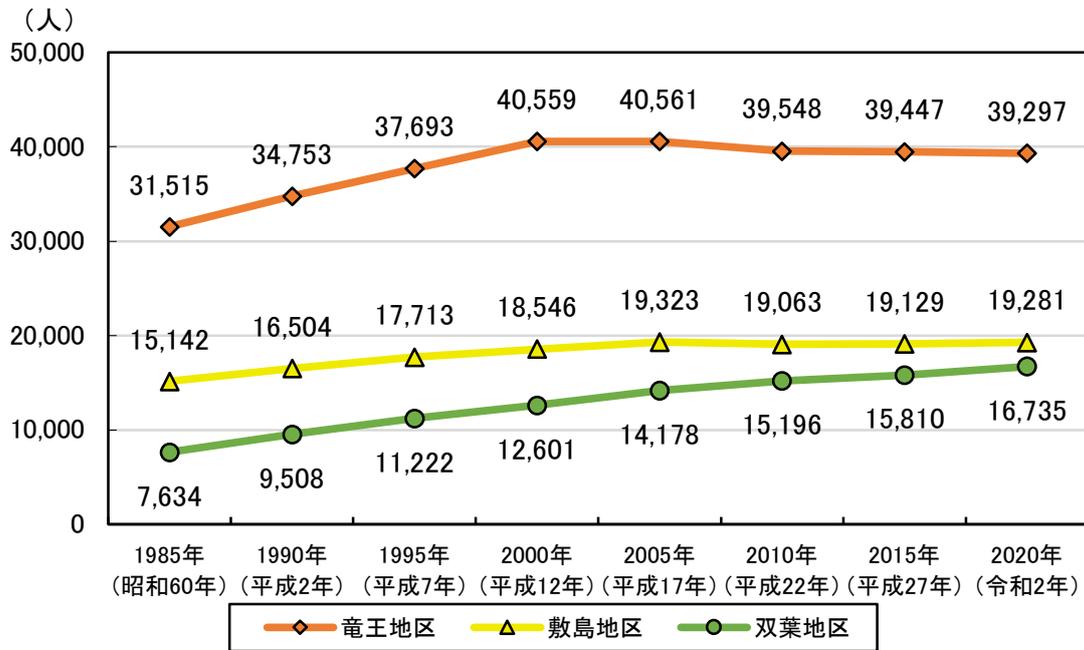


図 地区別人口推移

出典：国勢調査

#### (4) 人口密度

用途地域の人口密度は、2020年（令和2年）時点で、竜王地区で39.6人/ha、敷島地区で40.0人/ha、双葉地区で29.2人/haとなっており、いずれの地区においても2015年（平成27年）から減少傾向にある。

表 用途地域の人口及び人口密度の推移

			平成22年 2010	平成27年 2015	令和2年 2020
人口 (人)	竜王地区	都市計画区域	40,054	39,447	39,308
		用途地域	35,968	36,944	36,883
		用途地域外	4,086	2,503	2,425
	敷島地区	都市計画区域	17,393	18,040	18,437
		用途地域	16,078	17,531	17,965
		用途地域外	1,315	509	472
	双葉地区	都市計画区域	6,139	14,428	15,301
		用途地域	4,014	8,230	8,722
		用途地域外	2,125	6,198	6,579
面積 (ha)	竜王地区	都市計画区域	1,279	1,282	1,282
		用途地域	844	802	802
		用途地域外	434	480	480
	敷島地区	都市計画区域	706	668	668
		用途地域	398	394	394
		用途地域外	308	274	274
	双葉地区	都市計画区域	912	904	904
		用途地域	234	234	234
		用途地域外	679	670	670
竜王地区 用途地域人口密度 (人/ha)			42.6	46.1	46.0
敷島地区 用途地域人口密度 (人/ha)			40.4	44.5	45.6
双葉地区 用途地域人口密度 (人/ha)			17.2	35.2	37.3

※都市計画区域及び用途地域の面積の各年値は、2020年（令和2年）時点のGIS計測値を用いている。

出典：都市計画基礎調査

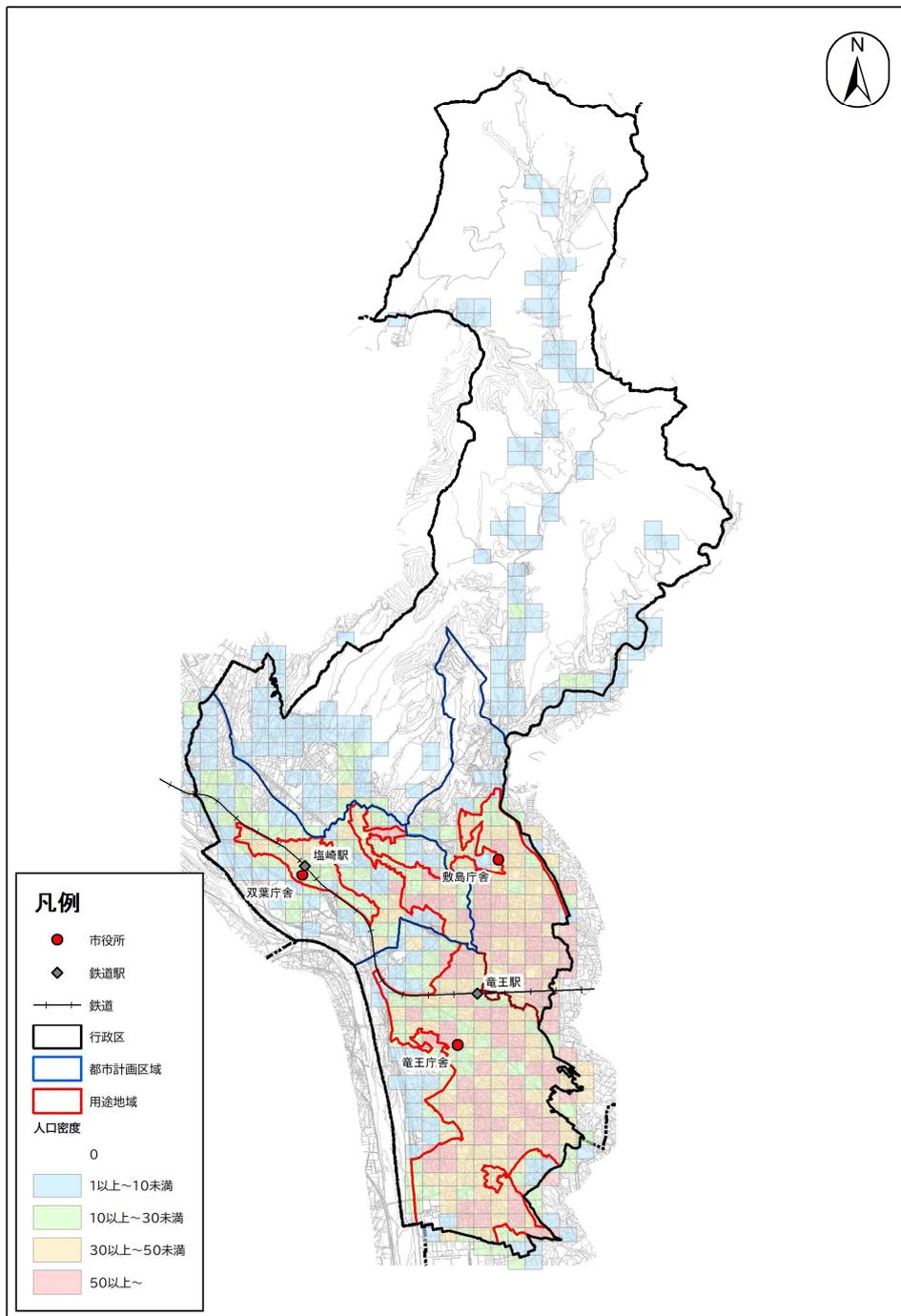


図 人口密度状況（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

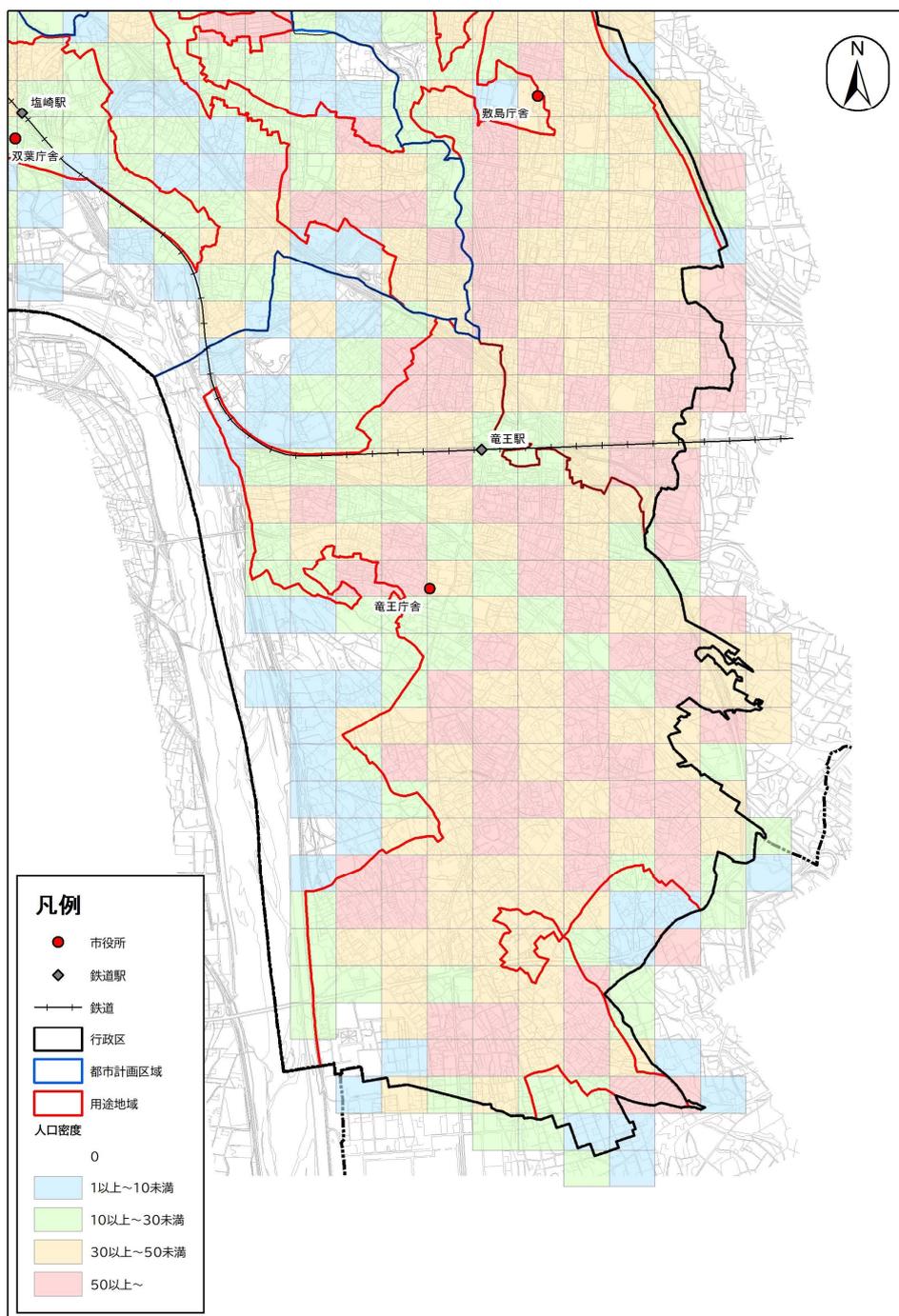


図 竜王地区の人口密度状況（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

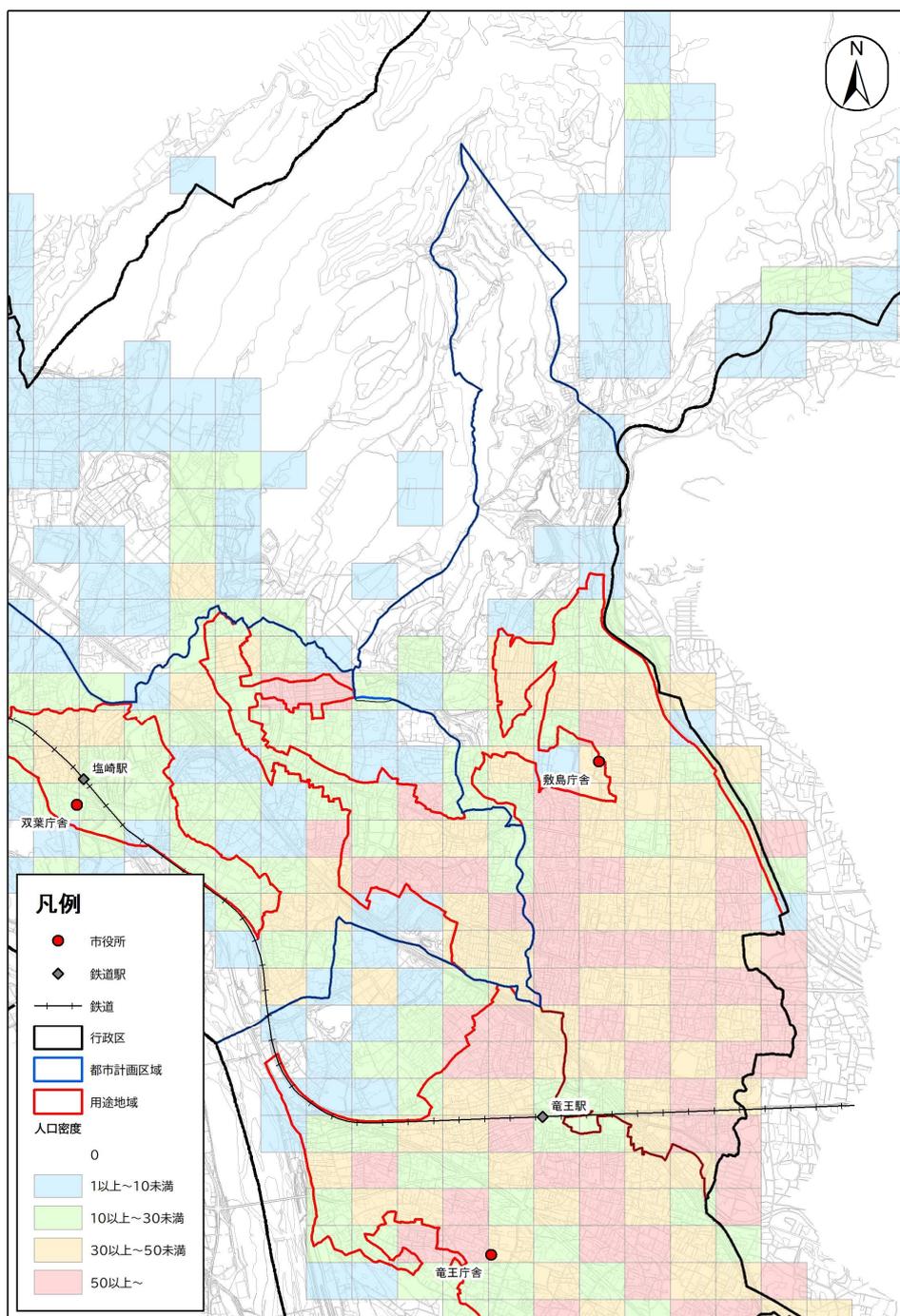


図 敷島地区の人口密度状況（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

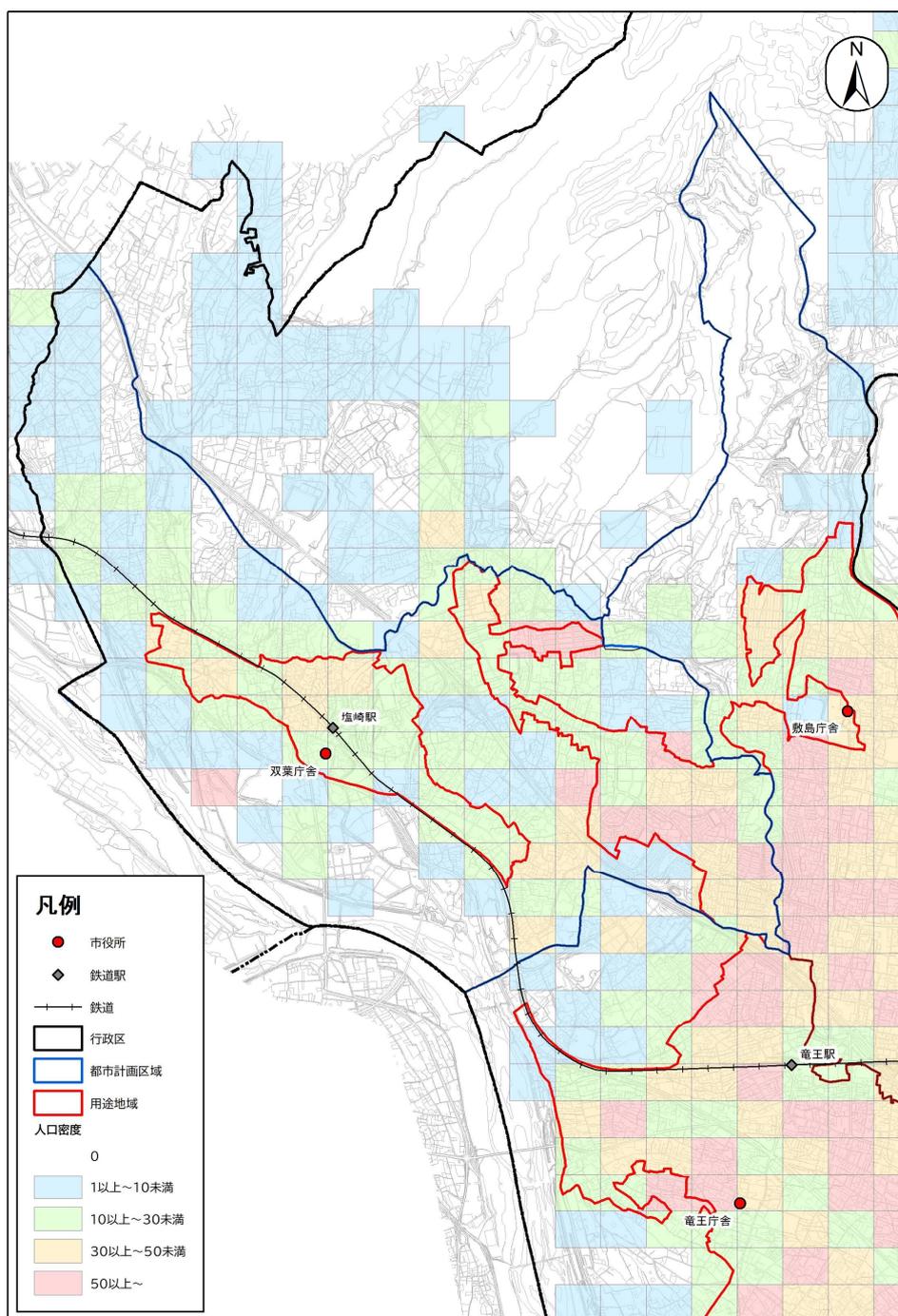


図 双葉地区の人口密度状況（2020年）

出典：2020年国勢調査 250mメッシュ

## (5) 人口集中地区

人口集中地区は、面積及び人口とも 1985 年（昭和 60 年）から 2005 年（平成 17 年）にかけて拡大している。

2005 年（平成 17 年）以降は、人口密度が減少傾向に推移している。

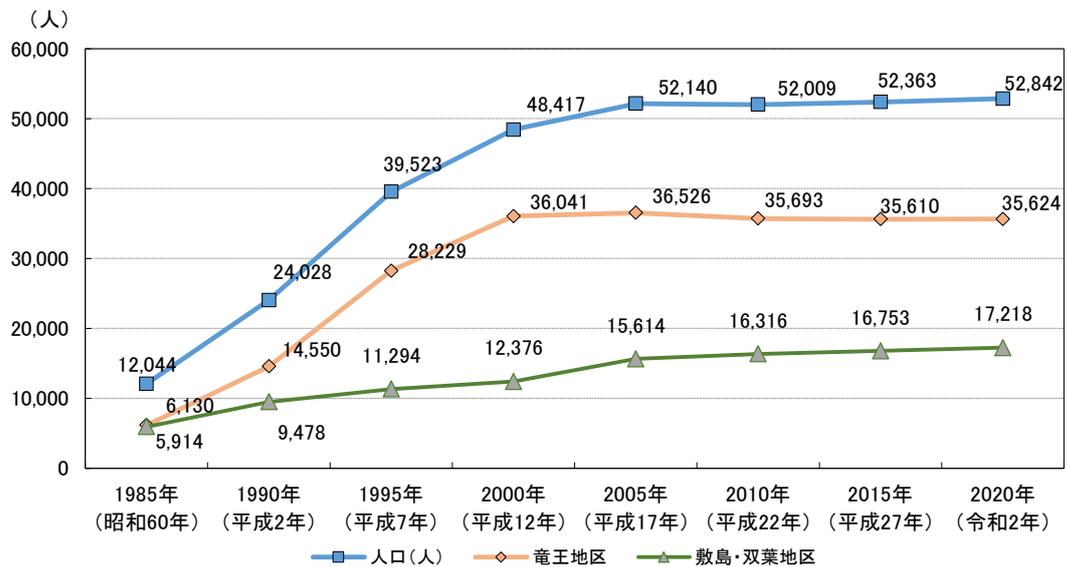


図 人口集中地区の人口推移（市全域、地区別）

出典：国勢調査

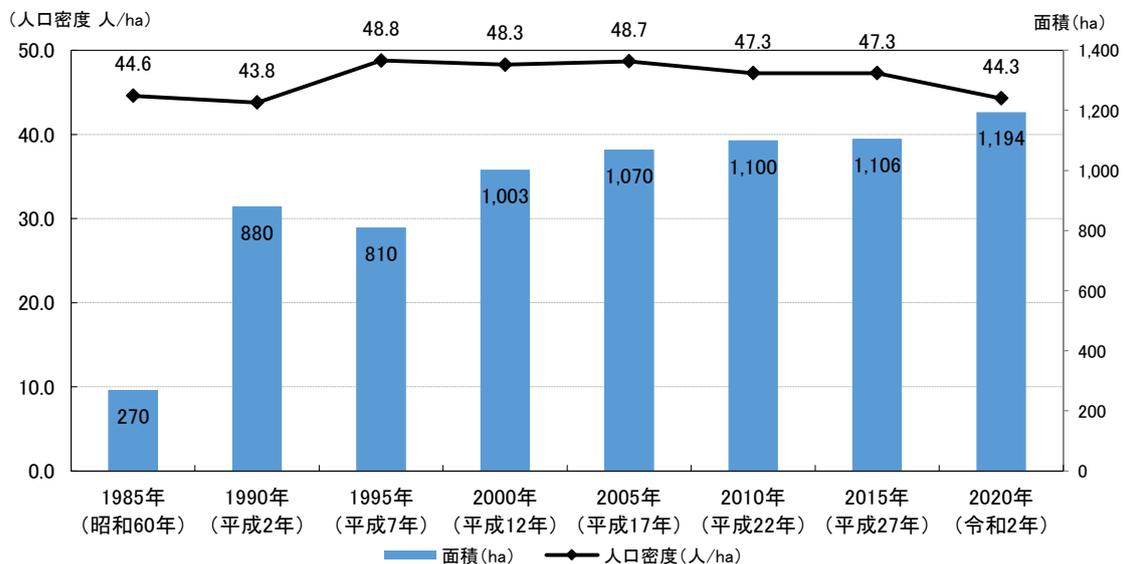


図 人口集中地区面積及び人口密度の推移

出典：国勢調査

表 人口集中地区の推移

区分	竜王地区			敷島・双葉地区			総数		
	人口(人)	面積(ha)	人口密度(人/ha)	人口(人)	面積(ha)	人口密度(人/ha)	人口(人)	面積(ha)	人口密度(人/ha)
1985年 (昭和60年)	6,130	140	43.8	5,914	130	45.5	12,044	270	44.6
1990年 (平成2年)	14,550	660	44.1	9,478	220	43.1	24,028	880	43.8
1995年 (平成7年)	28,229	560	50.4	11,294	250	45.2	39,523	810	48.8
2000年 (平成12年)	36,041	734	49.1	12,376	269	46.0	48,417	1,003	48.3
2005年 (平成17年)	36,526	752	48.6	15,614	318	49.1	52,140	1,070	48.7
2010年 (平成22年)	35,693	759	47.0	16,316	341	47.8	52,009	1,100	47.3
2015年 (平成27年)	35,610	762	46.7	16,753	344	48.7	52,363	1,106	47.3
2020年 (令和2年)	35,624	844	42.2	17,218	350	49.2	52,842	1,194	44.3

※人口集中地区とは、原則として人口密度が1km<sup>2</sup>当たり4,000人以上(40人/ha)で、隣接した地域の人口が5,000人以上の地域を呼ぶ。(国勢調査の調査区単位で集計)

※国勢調査の人口集中地区は、敷島地区と双葉地区を分けた数値での公表はされていなく、合わせた数値となっている。

出典：国勢調査

## (6) 世帯数

世帯数は、1985年（昭和60年）以降増加しており、2020年（令和2年）には31,039世帯となっている。

一方、増減率は減少傾向にあるが、2010年（平成22年）から2020年（令和2年）にかけて増加している。

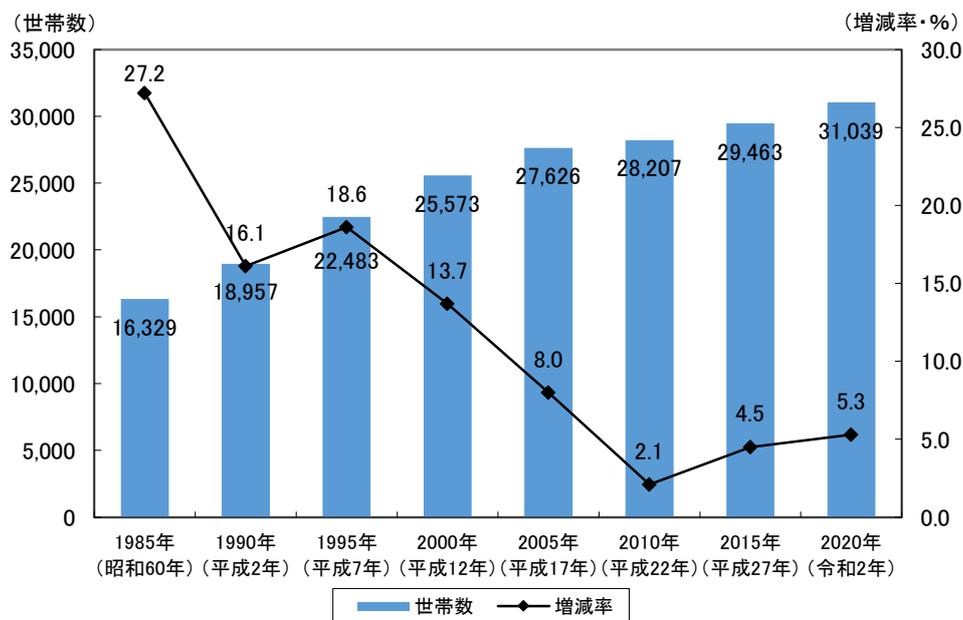


図 世帯数の推移

出典：国勢調査

## (7) 就業人口

就業者総数は、2010年（平成17年）以降、約36,000人程度で推移している。

産業別では、第1次産業、第2次産業から第3次産業へと年々移行しており、2020年（令和2年）には、第3次産業が68.3%を占めている。

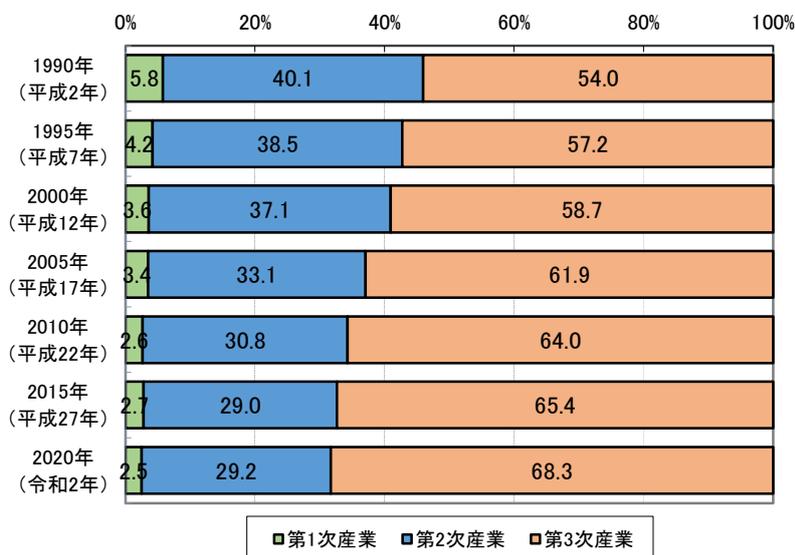


図 産業別人口構成の推移

出典：国勢調査

表 産業別人口構成の推移

産業(大分類)	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年(令和2年)		
	(平成2年)	(平成7年)	(平成12年)	(平成17年)	(平成22年)	(平成27年)	就業者数(人)	構成比(%)	
第1次産業	農業	1,724	1,451	1,313	1,261	937	945	904	2.5
	林業	24	26	27	29	25	40	35	0.1
	漁業	1	2	0	1	1	1	5	0.0
	小計	1,749	1,479	1,340	1,291	963	986	944	2.6
第2次産業	鉱業・採石業・砂利採取業	18	19	20	5	16	5	6	0.0
	建設業	3,217	4,083	4,438	3,783	3,290	3,216	2,926	8.0
	製造業	8,906	9,368	9,448	8,698	7,910	7,473	7,642	21.0
	小計	12,141	13,470	13,906	12,486	11,216	10,694	10,574	29.0
第3次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	156	204	189	172	220	179	185	0.5
	運輸・通信業	1,590	1,675	1,844	2,136	2,140	2,208	663	1.8
	卸売業・小売業・飲食店	6,441	7,617	8,179	8,216	6,011	5,778	1,535	4.2
	金融業・保険業	869	1,064	1,008	863	889	883	5,781	15.9
	不動産業・物品賃貸業	291	326	367	358	483	586	809	2.2
	サービス業	5,811	7,807	9,096	-	-	4,373	599	1.6
	学術研究・専門・技術サービス業	-	-	-	-	949	1,001	1,053	2.9
	宿泊業・飲食サービス業	-	-	-	-	2,059	1,964	1,881	5.2
	生活関連サービス業・娯楽業	-	-	-	-	1,440	1,408	1,389	3.8
	教育・学習支援業	-	-	-	-	1,635	1,731	1,910	5.2
	医療・福祉	-	-	-	-	3,907	4,656	5,160	14.2
	複合サービス事業	-	-	-	-	247	308	290	0.8
	サービス業(他に分類されないもの)	-	-	-	-	1,957	2,037	2,069	5.7
	公務	1,185	1,315	1,298	-	-	-	-	-
公務(他に分類されるものを除く)	-	-	-	-	1,341	1,372	1,423	3.9	
小計	16,343	20,008	21,981	23,304	23,278	24,111	24,747	67.9	
分類不能の産業	45	41	244	587	918	1,084	187	0.5	
合計	30,278	34,998	37,471	37,668	36,375	36,875	36,452	100.0	

出典：国勢調査

## (8) 人口流動（通勤通学）

市内居住者の就業・就学者数は、2020年（令和2年）で40,231人、うち市内への就業・就学率は33.8%となっており、2015年（平成27年）の34.4%から0.6%減少している。

市内居住者で市外への就業・就学者数のうち最も多いのは、甲府市の12,065人である。2015年（平成27年）と比較すると構成にそれほど変化はない。

また、市内で就業・就学する人は、2020年（令和2年）で24,054人、うち市内居住者が56.5%となっており、2015年（平成27年）の56.9%から0.4%減少している。

市街居住者で市内に就業・就学する人においても、甲府市が最も多く、3,823人である。2015年（平成27年）と比較すると構成にそれほど変化はない。

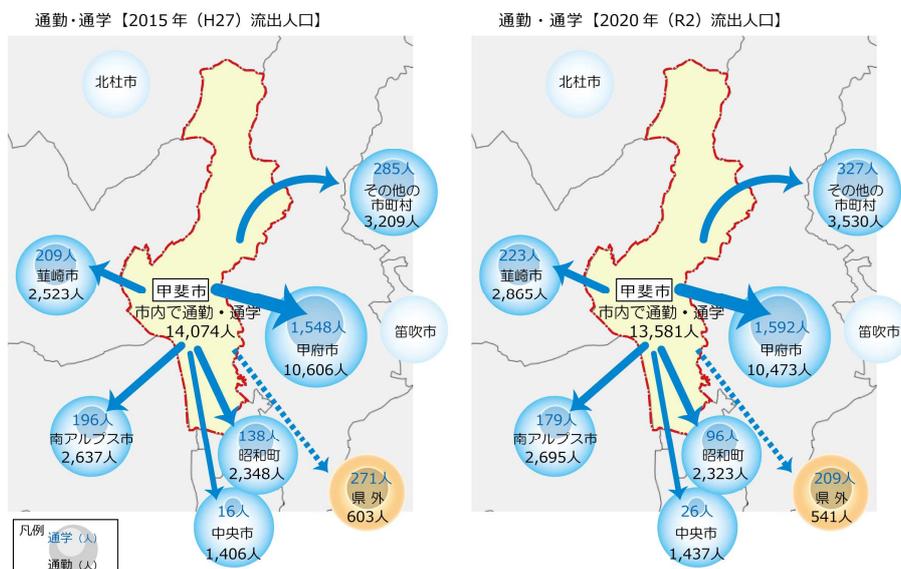


図 通勤・通学流動（流出）

出典：国勢調査

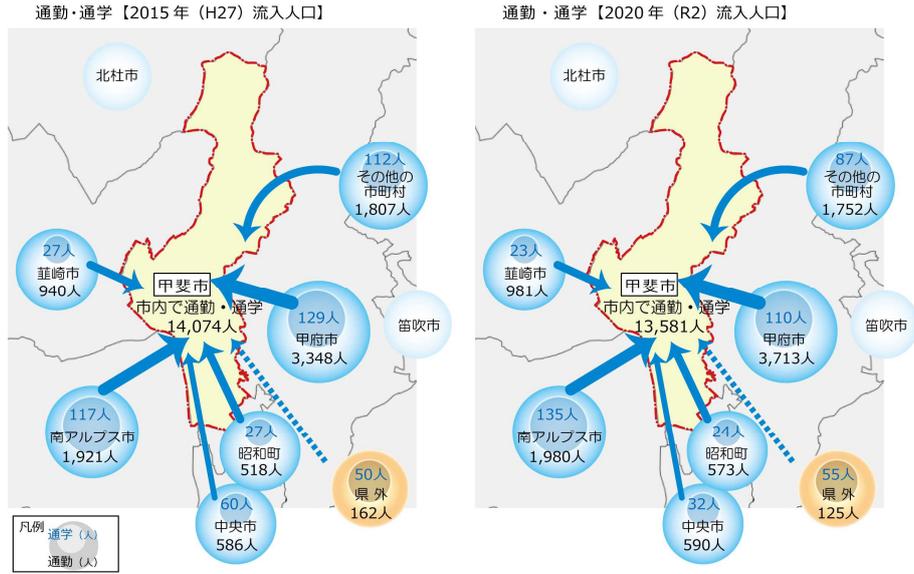


図 通勤・通学流動（流入）

出典：国勢調査

表 通勤・通学状況（流出）

2015年(平成27年)			2020年(令和2年)						
通勤・通学合計		内訳		通勤		通学			
市居住の就業・就学	40,909	100.0%	36,875	4,034	市居住の就業・就学	40,231	100.0%	36,417	3,814
市内で就業・就学	14,074	34.4%	12,782	1,292	市内で就業・就学	13,581	33.8%	12,441	1,140
市外へ(流出)						市外へ(流出)			
県内	25,121	61.4%	22,729	2,392	県内	25,766	64.0%	23,323	2,443
甲斐市→甲斐市	12,154	29.7%	10,606	1,548	甲斐市→甲斐市	12,065	30.0%	10,473	1,592
甲斐市→韮崎市	2,732	6.7%	2,523	209	甲斐市→韮崎市	3,088	7.7%	2,865	223
甲斐市→南アルプス市	2,833	6.9%	2,637	196	甲斐市→南アルプス市	2,874	7.1%	2,695	179
甲斐市→昭和町	2,486	6.1%	2,348	138	甲斐市→昭和町	2,419	6.0%	2,323	96
甲斐市→中央市	1,422	3.5%	1,406	16	甲斐市→中央市	1,463	3.6%	1,437	26
その他市町村	3,494	8.5%	3,209	285	その他市町村	3,857	9.6%	3,530	327
県外	874	2.1%	603	271	県外	750	1.9%	541	209
不詳	840	2.1%	761	79	不詳	134	0.3%	112	22

出典：国勢調査

表 通勤・通学状況（流入）

2015年(平成27年)			2020年(令和2年)						
通勤・通学合計		内訳		通勤		通学			
市内で就業・就学	24,718	100.0%	22,825	1,893	市内で就業・就学	24,054	100.0%	22,363	1,691
甲斐市内居住	14,074	56.9%	12,782	1,292	甲斐市内居住	13,581	56.5%	12,441	1,140
市外から(流入)						市外から(流入)			
県内	9,592	38.8%	9,120	472	県内	10,000	41.6%	9,589	411
甲斐市→甲斐市	3,477	14.1%	3,348	129	甲斐市→甲斐市	3,823	15.9%	3,713	110
韮崎市→甲斐市	967	3.9%	940	27	韮崎市→甲斐市	1,004	4.2%	981	23
南アルプス市→甲斐市	2,038	8.2%	1,921	117	南アルプス市→甲斐市	2,115	8.8%	1,980	135
昭和町→甲斐市	545	2.2%	518	27	昭和町→甲斐市	597	2.5%	573	24
中央市→甲斐市	646	2.6%	586	60	中央市→甲斐市	622	2.6%	590	32
その他市町村	1,919	7.8%	1,807	112	その他市町村	1,839	7.6%	1,752	87
県外	212	0.9%	162	50	県外	180	0.7%	125	55
不詳	840	3.4%	761	79	不詳	293	1.2%	208	85

出典：国勢調査

### 3.1.2 将来人口

今後の施策効果は見込まない、過去の人口推移を基本とした将来の人口（避けるべき将来の人口）を推計した。

なお、本推計値は人口ビジョン値（令和元年度改定版）のように、各種の施策効果を見込んだ目標とする将来の人口ではない。

表 将来人口の推計方法：コーホート要因法

使用データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況人口：令和2年国勢調査人口</li> <li>・推計に係る仮定値：「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」で使用されている甲斐市の仮定値（生残率、純移動率、子ども女性比、0-4歳性比）</li> </ul>
推計手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市域全体での5歳階級・男女別人口を用い将来人口を推計</li> <li>2. 小地域単位でも、市域全体と同様に将来人口を推計</li> <li>3. 市域全体での推計結果をコントロールトータルとし、小地域単位の推計結果を補正</li> </ol>

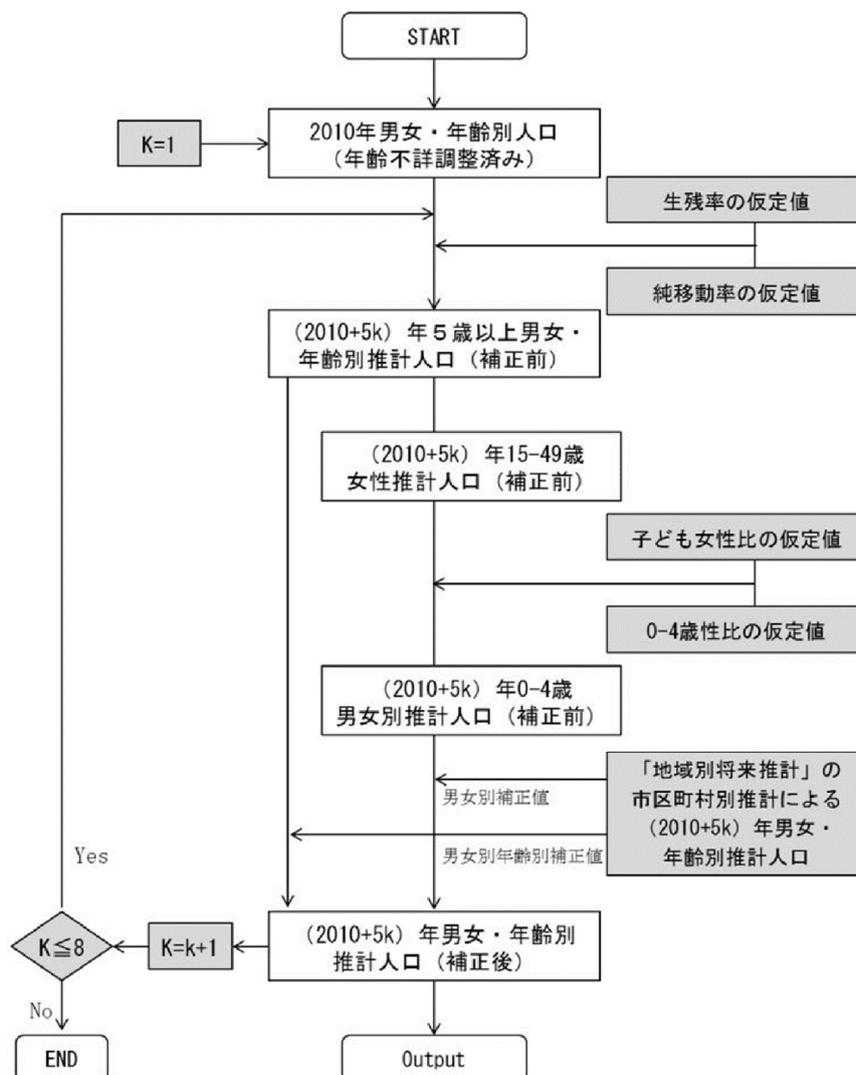


図 将来人口推計の推計フロー

出典：メッシュ別将来人口推計を活用した分析の展開（平成28年6月、国土交通省）

## (1) 推計結果

総人口は、2025年（令和7年）から減少に転じ、2040年（令和22年）で68,599人まで減少する見込みである。

人口減少は、自然減による影響が大きく、社会増減は-250人/5年～+47人/5年の変動幅となっている。

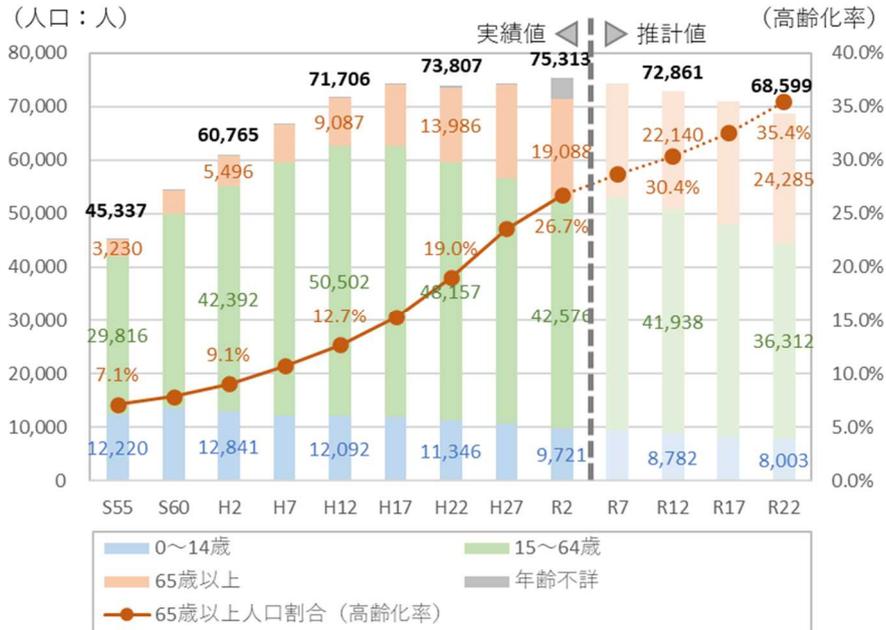


図 将来人口推計結果

表 将来人口推計結果

		1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7	R12	R17	R22
人口	総数	45,337	54,291	60,765	66,628	71,706	74,062	73,807	74,386	75,313	74,269	72,861	70,929	68,599
	0～14歳	12,220	13,554	12,841	12,188	12,092	11,799	11,346	10,614	9,721	9,464	8,782	8,281	8,003
	15～64歳	29,816	36,487	42,392	47,302	50,502	50,933	48,157	45,997	42,576	43,504	41,938	39,591	36,312
	65歳以上	3,230	4,247	5,496	7,131	9,087	11,327	13,986	17,486	19,088	21,301	22,140	23,056	24,285
	年齢不詳	71	3	36	7	25	3	318	289	3,928				
人口割合	0～14歳	27.0%	25.0%	21.1%	18.3%	16.9%	15.9%	15.4%	14.3%	13.6%	12.7%	12.1%	11.7%	11.7%
	15～64歳	65.9%	67.2%	69.8%	71.0%	70.5%	68.8%	65.5%	62.1%	59.6%	58.6%	57.6%	55.8%	52.9%
	65歳以上	7.1%	7.8%	9.1%	10.7%	12.7%	15.3%	19.0%	23.6%	26.7%	28.7%	30.4%	32.5%	35.4%
参考	H27基準人口 社人研推計値									74,175	73,320	71,927	70,081	67,846

※実績値（S55～R2）の人口割合は、年齢不詳を除いた総数を基に算出

表 5 歳階級別推計結果及び自然増減・社会増減の内訳

	人口					自然増減				社会増減			
	2020	2025	2030	2035	2040	2025	2030	2035	2040	2025	2030	2035	2040
	R2	R7	R12	R17	R22	R7	R12	R17	R22	R7	R12	R17	R22
総数	75,313	74,269	72,861	70,929	68,599	-794	-1,407	-1,947	-2,377	-250	-1	15	47
0～4歳	3,373	3,018	2,915	2,825	2,717	3,018	2,915	2,825	2,717	0	0	0	0
5～9歳	3,392	3,135	2,807	2,715	2,633	-2	-2	-2	-1	-236	-209	-198	-190
10～14歳	3,495	3,311	3,061	2,742	2,652	-1	-1	-1	0	-80	-73	-65	-62
15～19歳	4,064	3,588	3,399	3,135	2,806	-2	-2	-1	-1	95	90	76	66
20～24歳	2,910	3,156	2,789	2,633	2,430	-6	-5	-5	-4	-902	-793	-761	-701
25～29歳	3,562	3,657	4,008	3,546	3,376	-7	-7	-6	-5	754	860	762	749
30～34歳	4,146	3,814	3,885	4,284	3,794	-9	-8	-9	-7	260	237	285	256
35～39歳	4,730	3,975	3,655	3,730	4,120	-11	-10	-9	-10	-159	-149	-146	-154
40～44歳	5,312	4,550	3,826	3,515	3,592	-19	-15	-13	-13	-160	-135	-127	-125
45～49歳	6,098	5,167	4,426	3,723	3,417	-34	-27	-22	-19	-112	-96	-81	-78
50～54歳	5,222	5,938	5,035	4,319	3,632	-63	-50	-41	-32	-97	-81	-66	-59
55～59歳	4,584	5,141	5,833	4,950	4,255	-77	-83	-66	-54	-3	-22	-19	-10
60～64歳	4,307	4,519	5,081	5,756	4,889	-102	-109	-117	-94	37	49	40	33
65～69歳	4,889	4,230	4,449	5,014	5,674	-136	-137	-147	-159	59	68	80	77
70～74歳	5,502	4,662	4,052	4,268	4,815	-237	-194	-198	-214	10	16	16	16
75～79歳	4,114	5,130	4,354	3,808	4,021	-427	-344	-283	-290	55	36	39	43
80～84歳	2,786	3,596	4,524	3,847	3,399	-576	-680	-549	-456	58	74	42	48
85～89歳	1,723	2,213	2,859	3,646	3,105	-663	-812	-977	-796	90	75	99	54
90歳以上	1,106	1,471	1,902	2,474	3,271	-1,440	-1,836	-2,326	-2,937	82	55	38	88

## (2) 小地域別の人口増減率

将来人口の増減をみると、市全域で人口が減少しており、都市計画区域内は50人以上減少している。

高齢化率の増減率をみると、市北部を除いて、5.0%～20.0%増加している。

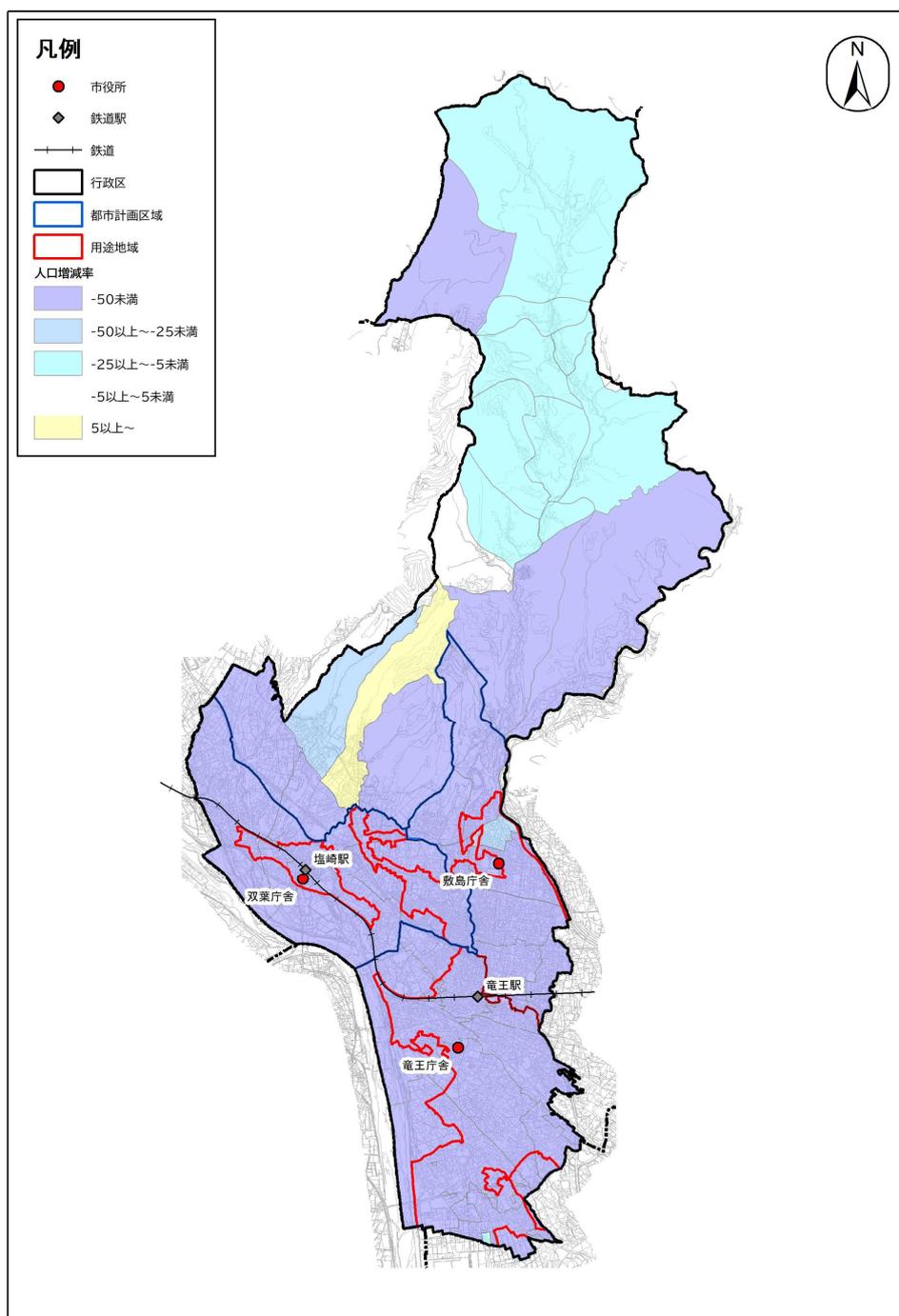


図 将来人口の増減（市全域）（2040年～2020年）

出典：国勢調査、将来人口推計

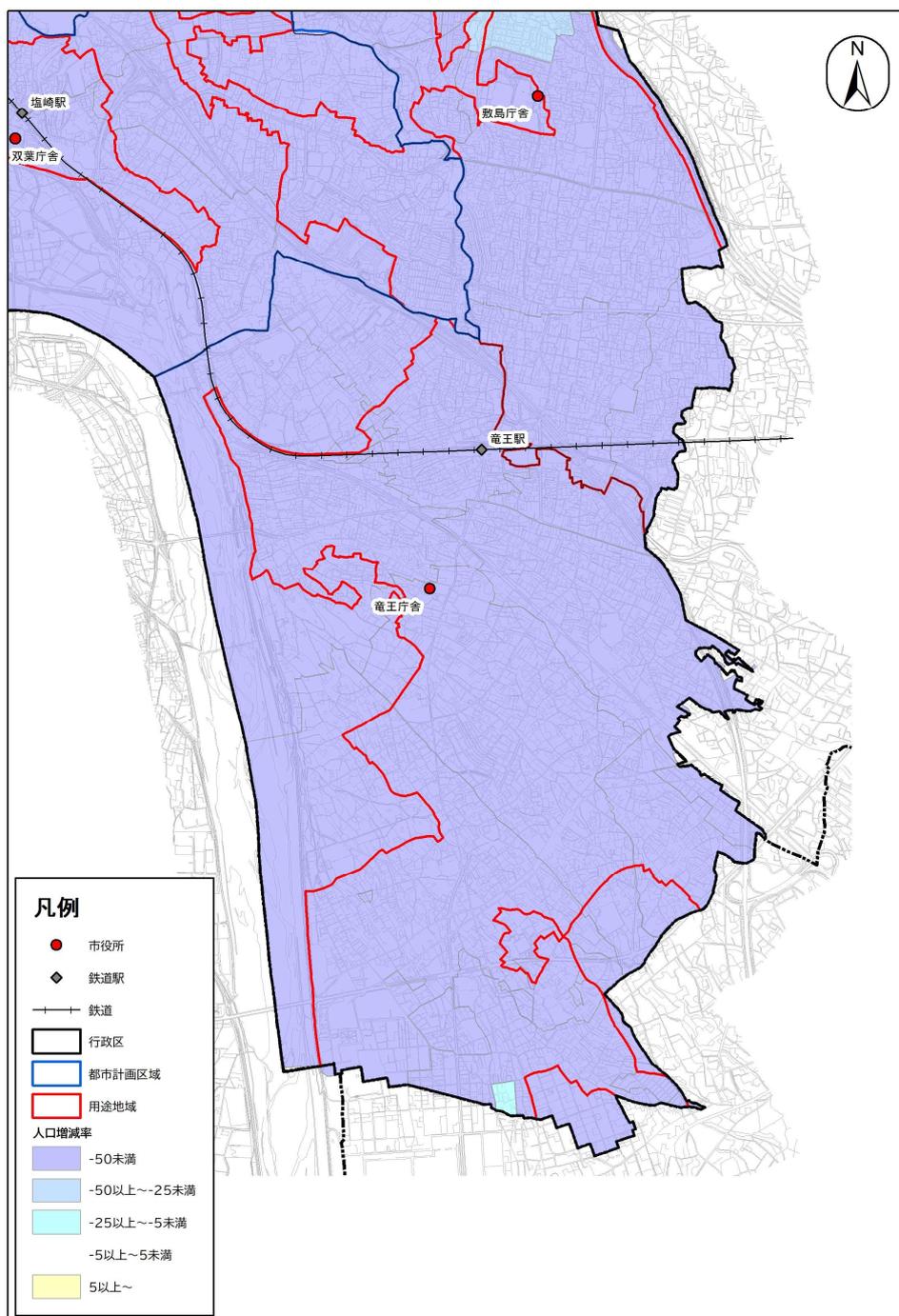


図 将来人口の増減（竜王地区）（2010年～2040年）

出典：国勢調査、将来人口推計

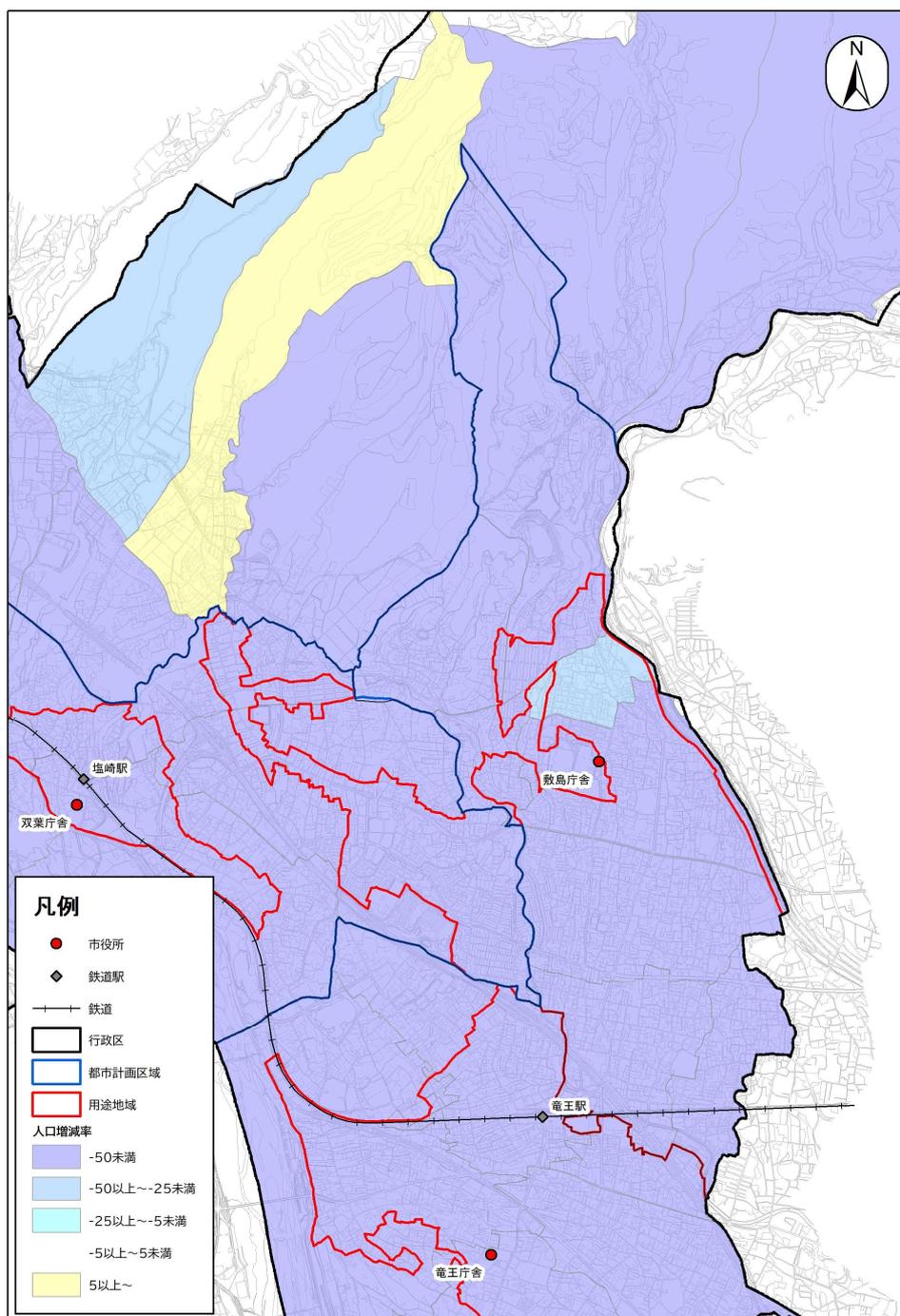


図 将来人口の増減（敷島地区）（2040年～2010年）

出典：国勢調査、将来人口推計

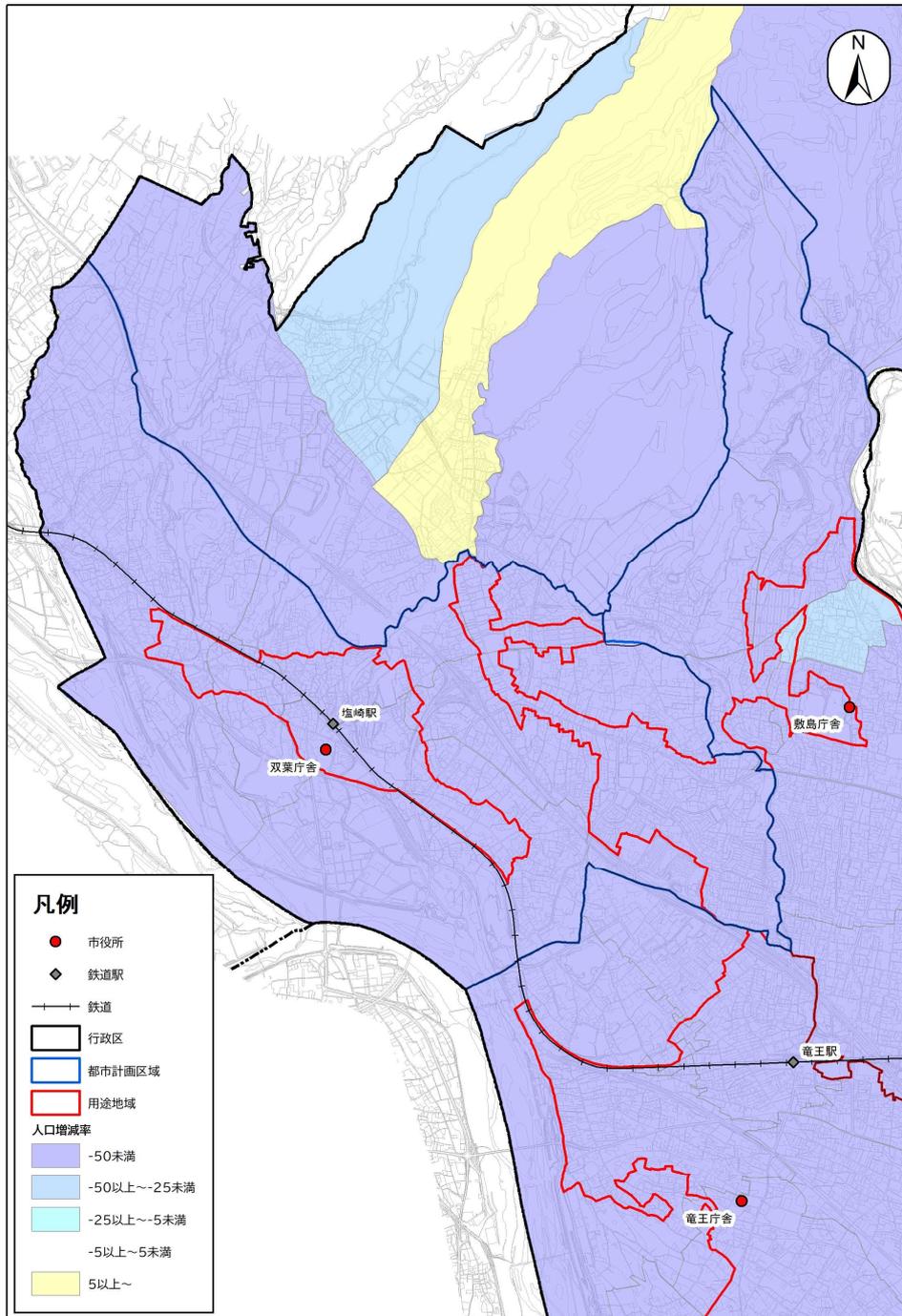


図 将来人口の増減（双葉地区）（2040年～2010年）

出典：国勢調査、将来人口推計

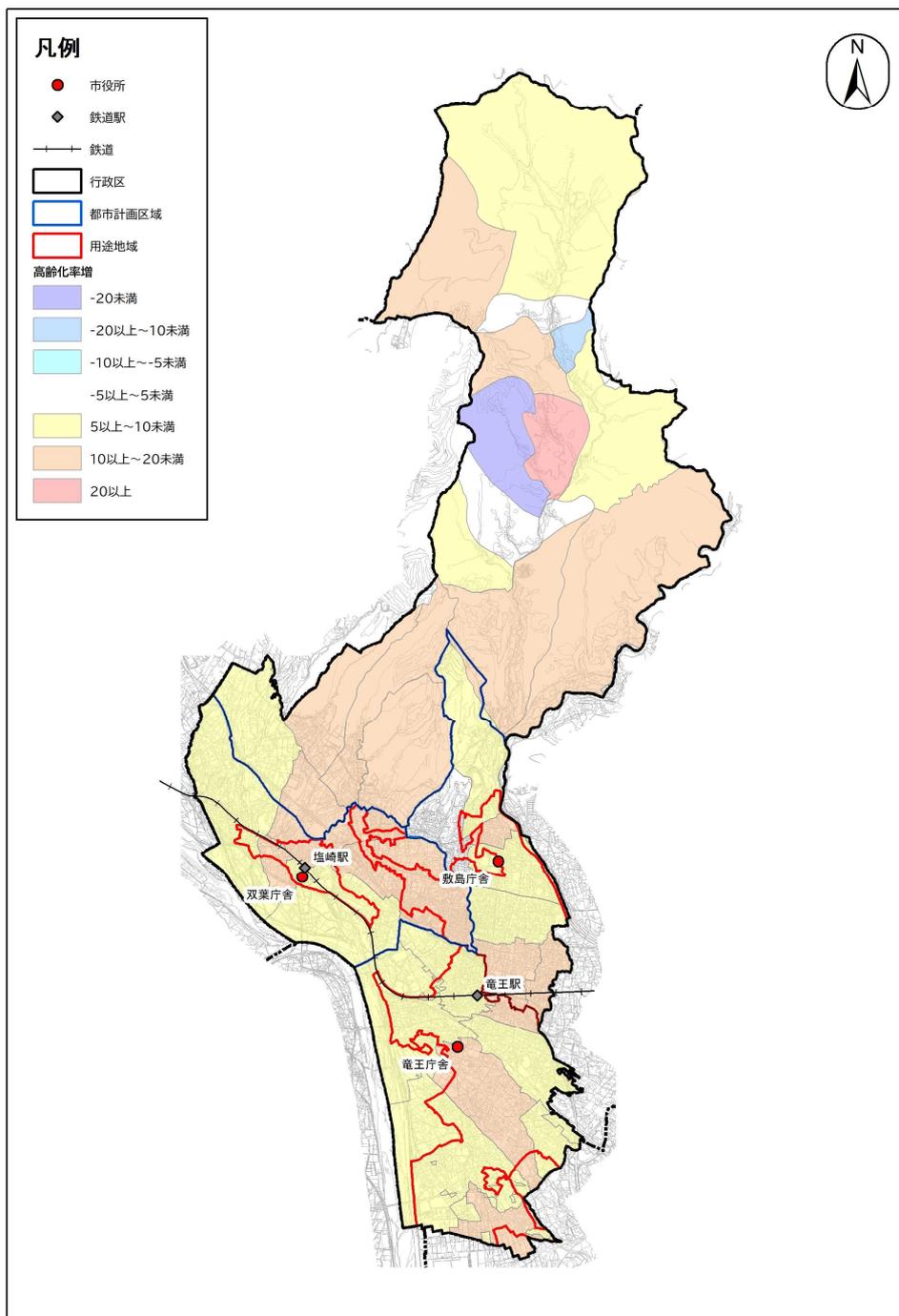


図 将来人口の高齢化率の増減（市全域）（2040年～2020年）

出典：国勢調査、将来人口推計

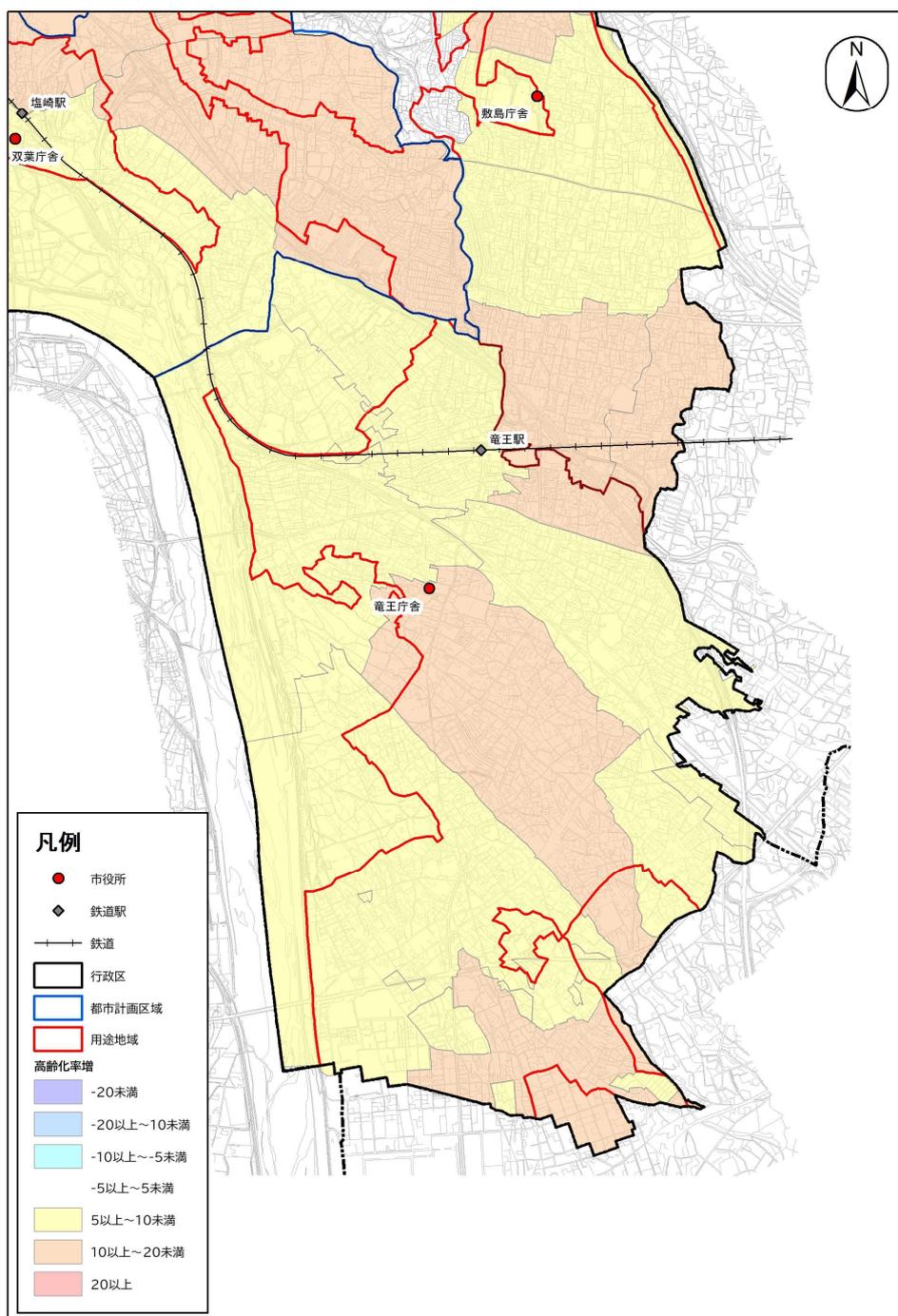


図 将来人口の高齢化率の増減（竜王地区）（2040年～2020年）

出典：国勢調査、将来人口推計

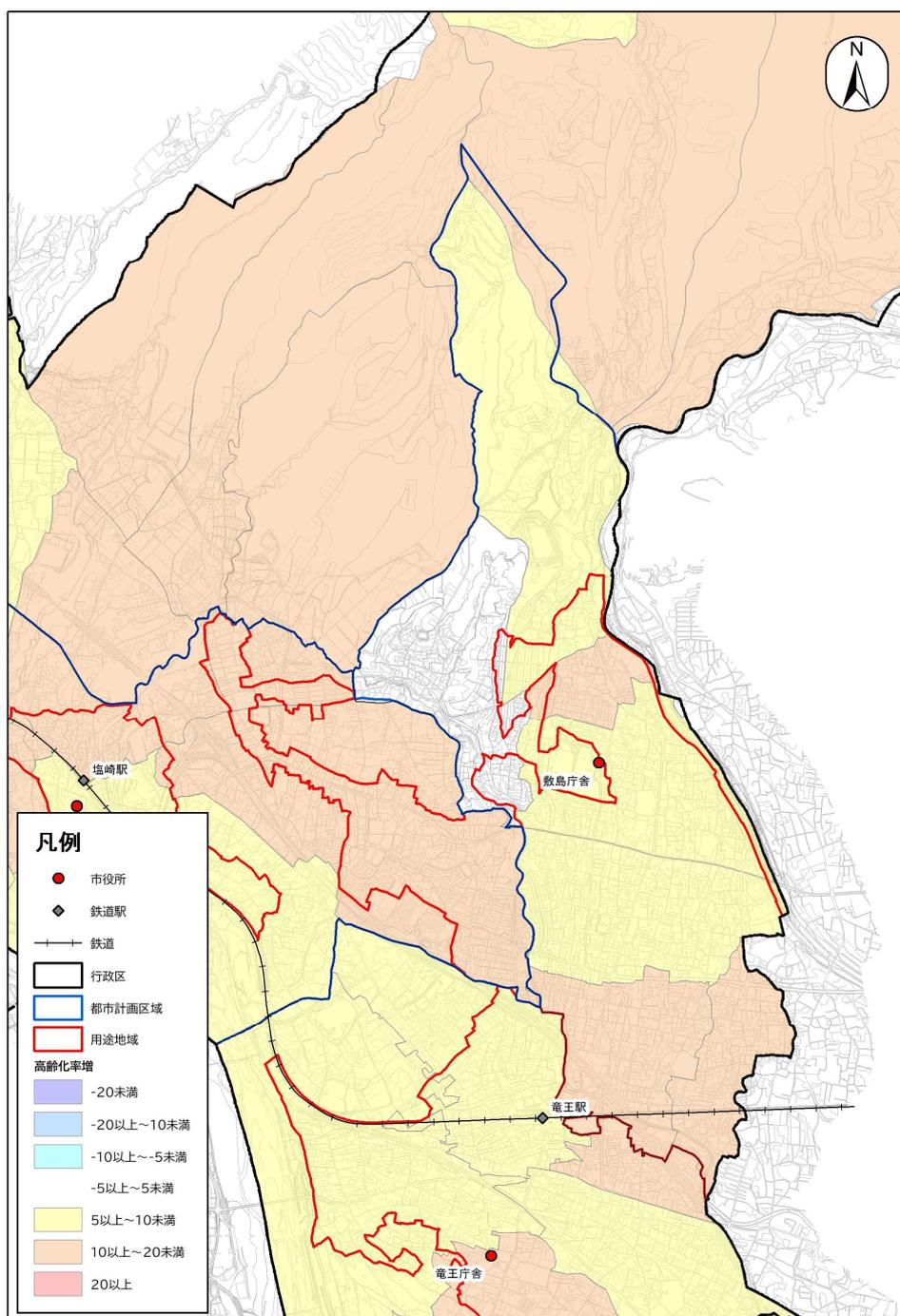


図 将来人口の高齢化率の増減（敷島地区）（2040年～2020年）

出典：国勢調査、将来人口推計

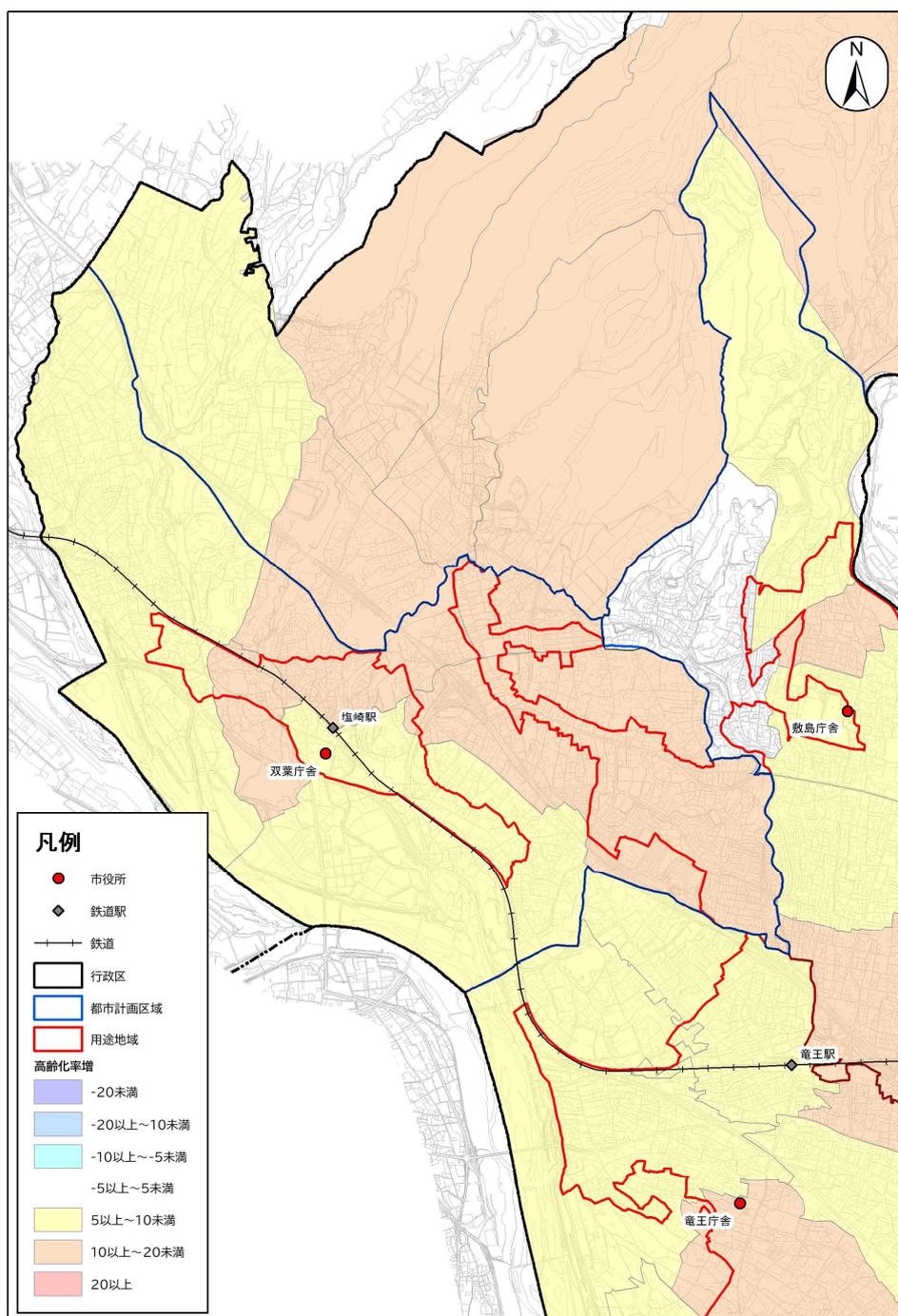


図 将来人口の高齢化率の増減（双葉地区）（2040年～2020年）

出典：国勢調査、将来人口推計

### 3.1.3 土地利用動向

#### (1) 法適用状況

土地利用計画に基づく5地域区分のうち、都市地域を除く土地利用規制は、用途地域に接して農用地区域が広がっているほか、山地に保安林や地域森林計画対象民有林、自然公園地域が指定されている。

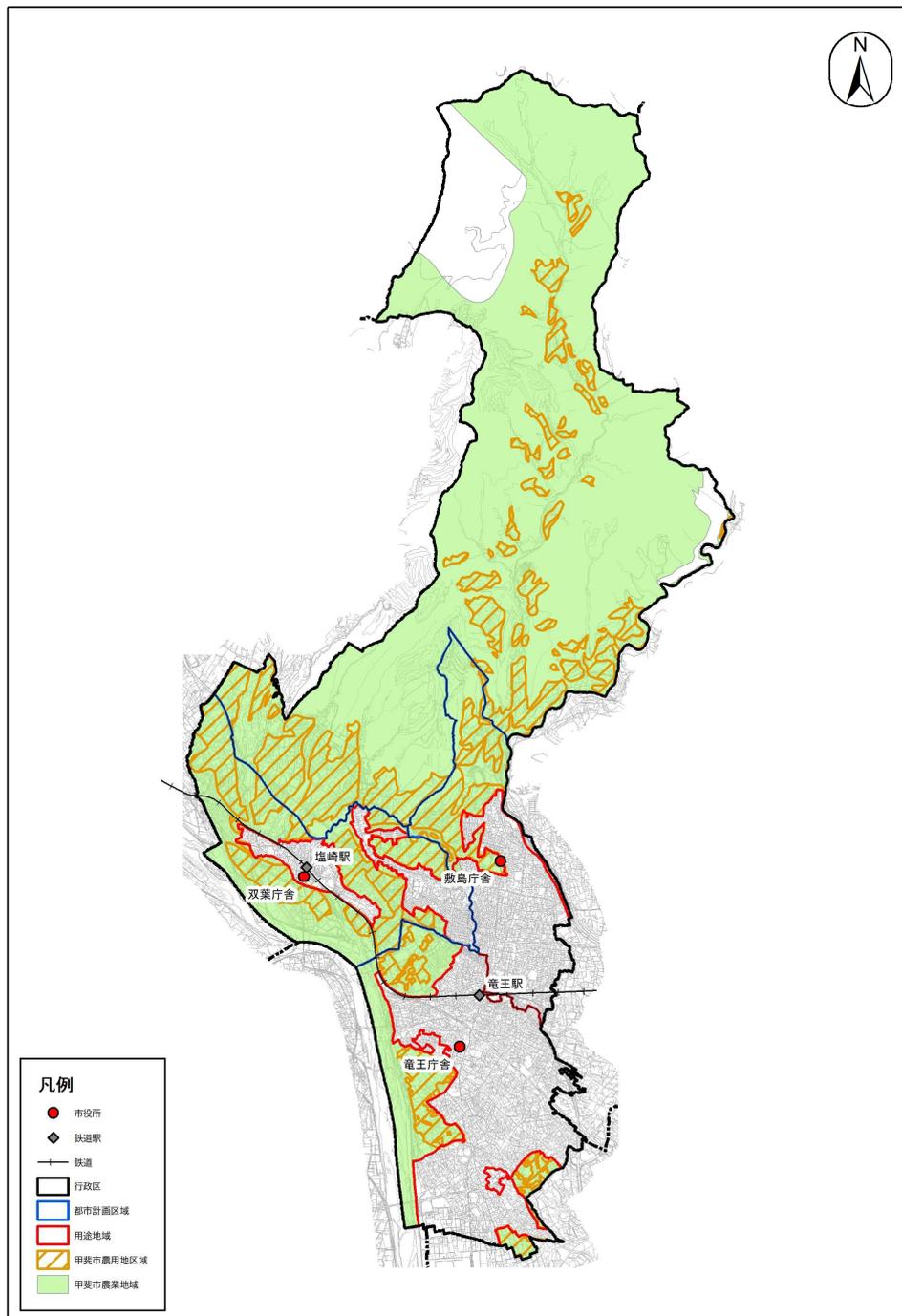


図 農業地域（市全域）

出典：国土数値情報ダウンロードサービス